

2022年実施 教員採用試験の変更点一覧

※5月18日時点(全自治体掲載)

北海道	試験日程	<ul style="list-style-type: none"> ・1次試験：6月19日(日) ・2次試験：8月5日(金)～7日(日)
	変更点	<ol style="list-style-type: none"> ①受検者確保の観点から、1次試験の会場を関西圏に新設する ②北海道内5地域(札幌・岩見沢・函館・旭川・釧路)で実施している2次試験については、1次試験と同様に、受検者が会場を選択できるようになる ③育児や介護のため、道教委任命の正規教員を退職した者を対象とした特別選考(退職教員特別選考)を新設する。過去に北海道教育委員会が任用する北海道内の公立の小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校または特別支援学校の正規教員であった者で、育児又は介護を理由に退職し、①出願しようとする受検区分における正規教員としての勤務実績が引き続き5年以上となる者 ②勤奨を受けて退職した者ではない者 が対象となる。対象者は人事記録により受検資格を確認し、1次試験を免除する ④小学校及び特別支援学校教諭(小学部)の2次試験について、他府県の多数で実施しておらず、受検者の負担軽減にもつながるため、英語(リスニング)や音楽(ピアノ演奏)、体育(水泳)の実技検査を廃止する ⑤小学校高学年における教科担任制の実施を踏まえ、現在実施している英語、理科及び数学に加え、中学校及び高等学校の保健体育教員免許取得(見込み)者も加点の対象とする ⑥前回の試験で11月に実施していた限付教員等特別選考受験者対象の3次試験は廃止となり、2次試験に統合される ⑦社会人特別選考に「高校水産(商船)」を追加 ⑧工業・水産特別選考における高校水産(商船)の採用候補者名簿登録期間について、3級海技士の免許を取得するまで採用を猶予し、登録期間を最大で令和7(2025)年4月1日まで延長が可能となる。ただし、登録期間内に3級海技士の資格を取得できなかった場合は、名簿から削除される ⑨免除措置及び加点措置における提出書類について、免許状取得見込証明書等を除き、写しの提出で可とし、検査当日の原本確認を行わない <p>【参考】北海道教育委員会・令和5年度(2023年度)北海道・札幌市公立学校教員採用候補者選考検査【北海道採用希望者向け】 https://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ksi/R5senkokensa.html</p>
	特記事項	<ol style="list-style-type: none"> ①前回、前々回の2次試験は2020東京大会開催のために8月下旬に実施していたが、これを2020年度試験(2019年実施)以来3年ぶりに8月1週目の実施に戻す。また、1次試験については受検者の確保と、1次の合格発表から2次試験まで一定の日程を確保するために、前回試験(6月27日実施)より1週繰り上げて実施する ②今回の試験での採用予定数は、小学校350名(前年比-50)、中学校190名(前年比+40)、高校160名(前年比+10)、特別支援学校121名(前年比+30)、養護教諭70名(前年比+30)、栄養教諭15名(前年比+5)で、小学校が前回試験より50名減となったが、その他の校種では採用予定数を増やしている
札幌市	試験日程	<ul style="list-style-type: none"> ・1次試験：6月19日(日) ・2次試験：8月6日(土)、7日(日)
	変更点	<ol style="list-style-type: none"> ①受検区分に「栄養教諭」の区分を新設する ②小学校・幼稚園教諭区分及び特別支援学校教諭(小学部)区分において、受検者負担軽減の観点から、前回試験での音楽実技(ピアノ演奏)に続き、リスニング検査(英語)及び体育(水泳)の実技検査項目を廃止する ③現職教員特別選考の資格要件について、「出願しようとする受検区分における正規教員としての勤務が引き続き3年以上」という資格要件を拡大し、出願しようとする受検区分の経験に限らず、「正規教員としての勤務が引き続き3年以上」となる者であれば該当するものとする ④特別支援教育の専門性と資質・能力により重点を置く目的から、特別支援学校教諭(小学部)区分及び特別支援学校教諭(中学部・高等部)区分における第1次検査の専門検査(Ⅰ)の配点を、100点から50点へ変更する ⑤「小中一貫した教育」を推進する観点から、「小学校・幼稚園教諭区分及び特別支援学校教諭(小学部)区分において、中学校教諭免許状を有する者」及び「中学校・高等学校教諭区分及び特別支援学校教諭(中学部・高等部)区分において、小学校教諭免許状を有する者」からの申請に基づき、第1次検査の総合点に10点を加点する。また、「小学校・幼稚園教諭区分において、中学校又は高等学校の保健体育の免許所有者」からの申請に基づき、第1次検査の総合点に10点を加点する ⑥中学校・高等学校教諭区分において、文部科学省I B教育推進コンソーシアム事務局が実施する国際バカロレアに係る所定のワークショップを修了した者からの申請に基づき、第1次検査の総合点に10点を加点する ⑦スポーツや芸術等の分野において秀でた技能・実績を有する受検者を対象に実施していたスポーツ・芸術特別選考を廃止し、同様の技能・実績を有する者を対象に第1次検査の総合点に10点又は5点を加点する制度(スポーツ・芸術特別加点)を新設する(※スポーツ・芸術特別加点は、他の加点制度と併せて受けることが可能) ⑧過去3年間に実施した選考検査の結果、札幌市の採用候補者名簿に登録となった者のうち、登録又は採用を辞退した者を対象とした特別選考を廃止する ⑨中学校・高等学校教諭区分及び特別支援学校教諭(中学部・高等部)の英語において、一定の英語に関する資格を有する者に対する第1次検査の専門検査(Ⅰ)の免除措置を廃止する <p>【参考】札幌市教育委員会・令和5年度(2023年度)北海道・札幌市公立学校教員採用候補者選考検査【札幌市採用希望者向け】 https://www.city.sapporo.jp/kyoiku/kyoshokuin/kyoinsaiyokensa.html</p>
	特記事項	<ol style="list-style-type: none"> ①今回の試験での採用予定数は、小学校・幼稚園130名(前年比+25)、中学校・高校100名(前年比-40)、特別支援学校50名(前年比+10)、養護教諭7名(前年比-8)。また、今年度から募集を開始する栄養教諭は3名程度としている。なお、このほかに障がい者特別選考として若干名の採用を予定しているほか、高校については北海道教育委員会との共同登録となった者から必要となる教科について若干名を採用する ②札幌市の1次試験については、北海道外での実施は東京会場のみとなる
青森県	試験日程	<ul style="list-style-type: none"> ・1次試験：7月23日(土) ・2次試験：9月23日(金・祝)、24日(土)
	変更点	<ol style="list-style-type: none"> ①1次試験の試験日程を筆記試験のみ1日とし、2次試験における人物評価については、これまでの「模擬授業と個人面接」から「集団討論と個人面接」に変えて実施する(※集団討論については、これまで1次試験の2日目で実施していたが、令和3年度および4年度試験では新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、会場の密を避けるため実施を中止していた)。これに伴い、小学校の受験者(併願者を除く)のうち、他都道府県等での現職教員で令和5(2023)年3月31日現在で3年以上の経験を有する者については、1次試験が免除となる ②昨年度試験で新型コロナウイルス感染拡大防止対策として中止となった小学校の実技試験(2次試験で実施)については、今年度は実施の予定としている ③高校と特別支援学校(高等部)の募集教科については、高校と特支高等部の「美術」「書道」を今年度新たに募集し、一方で昨年度募集のあった高校と特支高等部の「音楽」、高校の「商業」「工業(電気・電子、機械・電気機械)」「看護」は今年度は募集しない ④高校の家庭科教員において「調理師資格所有者」を対象とした社会人特別選考を実施する。受験資格は①民間企業等に正職員として令和4(2022)年5月31日までに5年間以上の勤務経験を有する者(私立学校教員や専門学校講師などとして教育に関連する事業等に従事する期間を除く) ②出願時に調理師の資格を有する者 ③高等学校家庭の普通免許状を有しない場合は、前記①②の条件に加え、特別免許状の取得要件及び出願時に3年間以上調理に関連する業務又は調理の実務経験を有する者 とする
	特記事項	<p>今回の試験での採用見込数は、小学校130名(前年比+20)、中学校80名(前年比+15)、高校20名(前年比-10)、特別支援学校40名(前年比±0)、養護教諭5名(前年比-5)、栄養教諭は若干名で、総数では前年比20名増となる275名としている</p> <p>【参考】青森県教育委員会・令和5年度青森県公立学校教員採用候補者選考試験の実施について https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kyoiku/e-kyoin/r5kyousai-jissigaiyou.html</p>

岩手県	試験日程	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次試験：7月23日(土) ・ 2次試験：8月下旬～10月上旬の予定 ※スポーツ，社会人，特定教科特別選考は6月上旬～中旬の予定(1次は書類選考)
	変更点	<ul style="list-style-type: none"> ①高校の全教科・科目において，2次試験で模擬授業の試験を実施する ②高校「倫理」及び「政治・経済」を「公民」として実施し，1次試験の出題範囲を「公共」「政治・経済」「倫理」とする。 ③昨年度実施のあった高校の一般選考「工業(建築，土木，工業化学)」と特別支援学校の一般選考「工業(建築)」，社会人特別選考の「中国語」及び「フランス語」は募集停止となる
	特記事項	<p>今回の試験での採用予定数は，小学校・中学校があわせて200名，高校・特別支援学校があわせて70名，養護教諭が20名で，養護が10名増となった以外は，前回試験と変わらない</p> <p>【参考】岩手県教育委員会・令和5年度岩手県公立学校教員採用候補者選考試験実施要項 https://www.pref.iwate.jp/_res/projects/default_project/_page_001/053/192/r5jissiyokou.pdf</p>
宮城県	試験日程	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次試験：7月23日(土) ・ 2次試験：面接→9月7日(水)～9日(金)および9月14日(水)～16日(金)のうちの指定日(1日) 実技→9月17日(土) <p>【参考】宮城県教育委員会・宮城県公立学校教員採用候補者選考 https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ky-teacher/r05kyosai.html</p>
	変更点	<ul style="list-style-type: none"> ①他県現職者等特別選考の要件を拡大し，これまで対象に含まれていなかった，他都道府県等において特別支援学校の校種で採用された者が，宮城県で各校種に設定している特別支援学校枠に出願する場合を対象に含める。また，現在までの直近約3年間の期間のうち，通算24月以上の勤務経験がある者としている要件を，産前産後休暇及び育児休業の取得者に限り「現在までの直近約5年間の期間のうち，通算24月以上の勤務経験がある者とする」特別措置を設ける ②「小学校」の特別支援学校枠へ出願する者のうち，幼稚園教諭普通免許状を取得している者(取得見込みの者も含む)を加点措置の対象とする。また「小学校」「中学校」及び「中・高」へ出願する者のうち，「小学校」へ出願する者が，中学校教諭普通免許状(教科を問わない)を取得している，「中学校」または「中・高」へ出願する者が，小学校教諭普通免許状を取得している，「中学校」または「中・高」へ出願する者が，他の教科の中学校教諭普通免許状を取得している」場合(取得見込みの者も含む)加点措置の対象とする ③Web受検で実施する適性検査の実施内容を増やして，より多角的に人物重視の選考を行う。実施については昨年同様，1次試験合格者及び1次試験免除者が対象となる ④選考結果の「C」ランクの割合について，これまで一律で1/3程度としていた割合を，出願者数等を加味して20～30%程度に幅を持たせるようにする
	特記事項	<p>今回の試験での採用予定者数は小学校250名(前年比-10)，中学校150名(前年比-10)，高校100名(前年比±0)，養護教諭5名(前年度若干名)，栄養教諭若干名となっている</p>
仙台市	試験日程	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次試験：筆記→7月23日(土) 実技→7月24日(日) ・ 2次試験：適性検査→8月28日(日)～9月4日(日)(Web検査) 集団討論・個人面接→小学校：9月17日(土)，18日(日) 中高・養護・栄養：9月23日(金・祝)，24日(土)
	変更点	<ul style="list-style-type: none"> ①今回の試験より中高の志望者を対象に複数免許所有者に対する加点措置を実施する。対象となるのは以下の通りで，対象者には1次試験の得点に20点を加点する <ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校(社会・理科・数学)の志望者で「音楽」「美術」「技術」「家庭」の免許状の所有者または取得見込者 ・ 中学校・高校(国語・数学・音楽・美術・保健体育・家庭・英語)の志望者で「音楽」「美術」「技術」「家庭」「情報」「書道」の免許状の所有者または取得見込者 ・ 高校(理科・工業)の志望者で「地理歴史」「公民」「情報」「書道」の免許状の所有者または取得見込者 なお，複数免許所有加点を受けて採用になった場合には，受験教科以外で所有する免許状の授業を担当する場合がある ②今年度の採用教科(科目)について，高校で前年度募集のあった「地理歴史」「公民」が外れる
	特記事項	<p>今回の試験での採用予定者数は小学校が190名(前年比-10)，中学校，中学校・高校が80名(前年比-10)，高校，養護教諭，栄養教諭がそれぞれ若干名となっている。なお，同時に選考する育児休業代替任期付教員については昨年度と同じく50名を採用予定</p> <p>【参考】仙台市教育委員会・令和5年度仙台市立学校教員採用選考試験実施要項 https://www.city.sendai.jp/kyoshokuinnyo/documents/r5youkou.pdf</p>
秋田県	試験日程	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次試験：7月23日(土)，24日(日) ・ 2次試験：9月10日(土)～12日(月)
	変更点	<ul style="list-style-type: none"> ①一般選考における優遇措置について，他県教諭等優遇に加えて教職経験者優遇(過去に公立学校で継続して3年以上の教諭または養護教諭経験を有し，平成24(2012)年3月31日以降に退職した者。対象者は他県教諭等優遇と同じく1次試験を免除する)を実施する ②加点による優遇措置の対象としてこれまでの高校・特別支援学校に加えて，小・中学校志願者にも司書教諭資格取得者に対する加点を実施する ③障害者特別選考の受験資格について，これまで「身体障害者手帳(1級から6級)の交付を受けている者，又は指定医による身体障害の診断を受けている者^(※)」に加えて，「都道府県知事若しくは政令指定都市市長が交付する療育手帳又は児童相談所，知的障害者更生相談所，精神保健福祉センター，精神保健指定医若しくは障害者職業センターによる知的障害者であることの判定書」または「精神障害者保健福祉手帳」のいずれかを保有する者を追加する ※「指定医による身体障害の診断を受けている者」は，「都道府県知事の定める医師(以下「指定医」という)若しくは産業医による障害者の雇用の促進等に関する法律別表に掲げる身体障害を有する旨の診断書・意見書(心臓，じん臓，呼吸器，ぼうこう若しくは直腸，小腸，ヒト免疫不全ウイルスによる免疫又は肝臓の機能の障害については，指定医によるものに限る)」とする ④高校の実施科目のうち，前年度は美術で募集した「芸術」については，今年度は音楽での募集となるほか，高校を対象に実施している社会人等特別選考(教員免許状の所有を前提としない選考)については「工業」のほかに，理学，農学，工学における博士の学位を有する者を対象に教科(科目)を定めない「博士号保有者」として実施する <p>【参考】秋田県教育委員会・令和5年度秋田県公立学校教諭等採用候補者選考試験実施要項 https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/64896</p>
	特記事項	<p>今回の試験での採用予定人員は小学校130名(前年比-20)，中学校65名(前年比-25)，高校25名(前年比+9)，特別支援学校22名(前年比±0)，養護教諭11名(前年比-9)で，高校と特支以外の校種で前年度より採用予定人数が減少，栄養教諭については今年度は募集を行わない。このほか，高校の実習助手(農業)，特別支援学校高等部実習助手，特別支援学校寄宿舎指導員，社会人特別選考(教員免許状の所有を前提としない選考)でそれぞれ若干名を募集する</p>

	試験日程	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次試験：7月23日(土) ・ 2次試験：9月13日(火)～15日(水)
山形県	変更点	<p>①山形県内の公立学校で正式採用されていた教諭、養護教諭、栄養教諭のうち、介護や子育て等で定年前に早期退職した方を対象とした「元職特別選考Ⅰ・Ⅱ」を新設する。志願資格は、昭和38(1963)年4月2日以降に出生した者で、志願する職、校種・教科・科目において、平成27(2015)年4月1日から令和5(2023)年3月31日までの期間のうち、山形県内の国立大学法人附属学校並びに公立の小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の正式採用教員として3年以上の継続した在职年数を有する者(ただし養護教諭、栄養教諭にあっては校種は問わない)。元職特別選考Ⅰ(小学校、中学校、特別支援学校小学部及び中学部、養護教諭、栄養教諭で実施)においては1次試験をすべて免除、元職特別選考Ⅱ(高等学校で実施)においては1次試験の「教職教養・一般教養」が免除となる</p> <p>②「現職教員特別選考Ⅰ・Ⅱ」の年齢にかかわる志願資格について、これまでの昭和58(1983)年4月2日以降生まれ(39歳以下)から、昭和48(1973)年4月2日以降生まれ(49歳以下)に変更する</p> <p>③特別支援学校小学部及び中学部の志願者に対する加点要件(複数の障がい種の特別支援学校教諭の普通免許状を有する者又は取得する見込みの者)の組み合わせについて、これまでの「視覚」と「知覚」又は「聴覚」と「知覚」の組み合わせから、「知的・肢体・病弱」の中から2領域以上及び「視覚・聴覚」の中から1領域以上の組み合わせに変更する。また、新たに「高等学校教諭の「情報」の普通免許状を有する者又は取得する見込みの者」「受験する校種・教科の普通免許状以外に、中学校又は高等学校教諭の「数学」又は「理科」の普通免許状を有する者又は取得する見込みの者」に対して加点(それぞれ10点)を行う</p> <p>④高等学校教諭・助教諭の志願者で「高等学校教諭の「情報」の普通免許状を有する者又は取得する見込みの者」に対する加点を、これまでの10点から30点に引き上げる</p> <p>⑤加点の上限について、これまで全校種で一律20点だったものを、高等学校教諭・助教諭については40点、それ以外の校種については25点にそれぞれ引き上げる</p> <p>⑥今年度の高校の募集科目に「世界史・日本史」と「土木」を追加する</p> <p>⑦提出書類のうち、二次試験において全員に提出を求めている「推薦書」は不要となる。</p> <p>⑧大学推薦特別選考の対象に「特別支援学校小学部」「特別支援学校中学部」を追加する。</p> <p>⑨スポーツ特別選考の対象競技として「カヌー」を追加し、「ボクシング」を対象から外す。</p> <p>⑩現職教員特別選考の志願者は、今年度から新たに「勤務状況調査」の提出が必要となる。</p> <p>⑪特別選考のうち、昨年度実施のあった教職大学院修了見込者特別選考については、実施しない。</p> <p>⑫新型コロナウイルス感染防止対応として昨年度試験で実施しなかった1次試験の「集団討議」「保健体育での水泳実技」については、今年度の試験でも引き続き実施しない。また、同じく昨年度試験で実施しなかった2次試験の「模擬試験等」については、今回の試験から実施をとりやめ、「個人面接1・2」に「場面指導等(学校生活全般におけるさまざまな場面での児童生徒や保護者への対応の仕方等について問う)」を含む形で実施する</p> <p>【参考】山形県教育委員会・令和5年度採用山形県公立学校教員選考試験実施要項 https://www.pref.yamagata.jp/documents/25754/r5-1_youkou.pdf</p>
	特記事項	<p>今回の試験での採用予定者数は小学校が185名(前年比-5)、中学校が85名(前年比±0)、高校が35名(前年比±0)、特別支援学校が25名(前年比-5)、養護教諭が15名(前年比±0)、栄養教諭は若干名(前年比±0)</p>
福島県	試験日程	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次試験：筆記⇒7月23日(土) 実技⇒7月24日(日) ・ 2次試験：小学校・中小併願⇒9月10日(土) 中学校・養護⇒9月11日(日) 高校⇒9月17日(土)～19日(月)のうち指定する2日間 特支⇒9月17日(土)、18日(日)
	変更点	<p>①小学校、特別支援学校小学部の1次試験で実施していた「体育」「音楽」の実技試験を廃止する</p> <p>②中学校の一般選考、特別選考Ⅱにおいて、小学校との併願を実施する(受験資格：小学校教諭の普通免許を取得している、または取得見込みの方)</p> <p>③中学校、養護教諭の一般選考、特別選考Ⅰ、特別選考Ⅱにおいて地域採用枠(「奥会津採用枠」「相双採用枠」)を設定する</p> <p>④高校、特別支援学校高等部において、必要とされる分野(教科)に関する優れた社会人経験等がある方を対象に特別選考Ⅳ(社会人経験等特別選考)を実施。令和5年度試験では「情報」で実施する</p> <p>⑤高校において、必要とされるスポーツ・芸術等の分野(種目)に関する優れた実績がある方を対象に実施する特別選考Ⅲ(スポーツ・芸術等特別選考)について、令和5年度試験では「スポーツ：ウエイトリフティング」を募集する(令和5年度は芸術分野の募集は行わない)</p> <p>⑥英語教科試験において、加点基準を変更する</p> <p>【参考】福島県教育委員会・令和5年度福島県公立学校教員採用候補者選考試験のご案内 https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/edu/saiyo.html</p>
	特記事項	<p>今回の試験での採用予定者数は小学校が280名(前年比+10)、中学校が115名(前年比+5)、高校が45名(前年比±0)、特別支援学校が50名(前年比±0)、養護教諭が18名(前年比±0)</p>
茨城県	試験日程	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次試験：6月26日(日) ・ 2次試験：8月19日(金)～21日(日)
	変更点	<p>①1次試験での専門教科の試験時間が全教科90分に統一される(前年度試験までは2次で実技のある教科は60分、それ以外の教科は120分)</p> <p>②1次試験は茨城県内の他に昨年度試験での東京・仙台・名古屋に加え、今年度は大阪、福岡でも行われる</p> <p>③教職大学院修了者(令和4年度末に修了予定の方を含む)を対象に、申請によって、1次試験の教職専門の試験を免除する</p>
	特記事項	<p>今回の試験での採用予定者数は小学校が400名(前年比-10)、中学校が280名(前年比-10)、高校が130名(前年比±0)、特別支援学校が90名(前年比±0)、養護教諭が14名(前年比-23)、栄養教諭が4名(前年比±0)、実習助手が5名(前年比+1)となっている</p> <p>【参考】茨城県教育委員会・令和5年度採用茨城県公立学校教員選考試験実施要項 https://www.edu.pref.ibaraki.jp/board/welcome/kyoshoku/saiyou/r5nendo/0401-2/01youkou.pdf</p>

栃木県	試験日程	・1次試験：実技→7月9日(土) 筆記→7月10日(日) ・2次試験：作文・集団討論→8月20日(金) 個人面接→8月21日(土)22日(日)のいずれか1日 実技→8月23日(月)
	変更点	①出願方法を、電子申請による出願手続と願書等の必要書類を郵送する2段階方式に変更する ②これまで一部の特別選考を除き受験資格に45歳未満という年齢制限を設けていたのを、すべての募集区分・教科・科目において受験資格に係る年齢制限を撤廃し、60歳未満(昭和38(1963)年4月2日以降に生まれた者)とする ③小学校の専門試験について、これまで「必須4教科(国語・社会・数学・理科)＋音楽・美術・保健体育・家庭に関する専門科目から1科目を選択」となっていたのを、選択科目だった「音楽」「美術」「保健体育」「家庭」を必須とした上で、新たに「英語」に関する専門科目を追加して必須とする ④特別選考「特定の資格や経歴により一部試験を免除した選考」に、新たに「高校情報」を加える。対象となるのは情報の教員免許状を持っていない方で、情報処理技術者国家試験に合格し、IT関係の実務経験のある方 ⑤小学校または中学校の志願者で、小学校教諭普通免許状と中学校教諭普通免許状の両方をすでに取得あるいは令和5(2023)年3月31日までに取得見込み確実の者を対象に、1次試験の専門科目に5点を追加する ⑥高校の志願者(情報を除く)で、情報の普通免許状をすでに取得あるいは令和5年3月31日までに取得見込み確実の者に対する加点について、これまでの5点から10点に引き上げる。なお、この制度を利用して合格した者については受験した教科以外に「情報」の授業を担当することもある
	特記事項	今回の試験での採用予定者数は小学校・中学校あわせて300名(前年比-100)、高校が50名(前年比-10)、特別支援学校が40名(前年比±0)、養護教諭は小・中・高・特でそれぞれ若干名となっている。このほか、別枠として小学校における英語教育に係る特別選考で小学校30名程度、特別支援学級担当等の経験により一部試験を免除した選考で小学校・中学校の全教科あわせて15名程度を募集する 【参考】令和5(2023)年度栃木県公立学校新規採用教員選考試験要項等のダウンロード https://www.pref.tochigi.lg.jp/m03/saiyou/r05saiyoushikend.html
群馬県	試験日程	・1次試験：7月10日(日) ・2次試験：実技→8月21日(土=小学校・中学校・養護・高校の音楽、美術、保健体育、英語)、22日(日=高校の農業、工業) 面接→8月24日(水)～9月8日(木)までの指定日(1日)
	変更点	①電子申請での出願時に「個人写真の画像」「自己アピール用紙(所定の用紙をダウンロードし、直筆で作成したもの)」「教育職員免許状および講習終了等の証明書」を添付する ②養護教諭の実技試験を小・中の実技試験と同日の実施に変更する ③昨年度募集のなかった高校「美術」を、今回の試験で募集する ④これまで「中学校音楽」「高校音楽」「中学校美術」「高校美術」「高校工芸」のいずれかの免許状を有する人を対象としていた特別支援学校教員の加点要件に、新たに「小学校」「中学校」「高等学校」免許状の全てを有する人を追加する ⑤高校の志願者について、専修免許状を取得できる国内の大学院修士課程に令和4年度に在籍しており、かつ令和5年度末に課程を修了する見込みがある人に対して、採用期日を1年間延長する(教職大学院の教職修士課程についても、大学院修士課程と取扱いとする)
	特記事項	今回の試験での採用予定者数は小学校・中学校が330名(前年比+30)、高校が55名(前年比+10)、特別支援学校が50名(前年比±0)、養護教諭が25名(前年比+8)。また、障害者について採用予定数のほかに5名程度を募集 【参考】令和5年度採用群馬県公立学校教員募集要項 https://www.pref.gunma.jp/03/x18g_00097.html
埼玉県	試験日程	・1次試験：7月10日(日) ・2次試験：小学校・中学校・養護・栄養→①8月20日(土)・21日(日)、②9月10日(土)・11日(日)のうち指定する1日 高校・特支→①8月7日(日)、②8月17日(水)～23日(火)のうち指定する1日、③8月21日(日)
	変更点	①大学推薦特別選考の対象教科に、中学校等教員「美術」及び「家庭」を追加する ②小学校・中学校・高等学校及び特別支援学校教員(特別支援教育)において、手話通訳士の資格を有する者を新たに加点の対象とする ③社会人特別選考は、今回の試験より1次試験の専門教科が免除となる ④今回の試験より、一般選考受験者の出願手続はインターネットのみとなる 【参考】埼玉県教育委員会・令和5年度埼玉県公立学校教員採用選考試験の実施計画の概要 https://www.pref.saitama.lg.jp/documents/211804/r5shikengaiyou.pdf
	特記事項	今回の試験での採用見込数は、前回(令和3年度実施)よりも110名増となる1,927名(小学校850(前年比+100)、中学校480(前年比-20)、高校330(前年比±0)、特別支援学校200(前年比+10)、養護教諭55(前年比+20)、栄養教諭12(前年比±0))の見込み
さいたま市	試験日程	・1次試験：7月10日(日) ・2次試験：論文・個人面接・適性検査→8月6日(土) 実技→8月7日(日) 集団面接→8月20日(土)・21日(日)のうち指定する1日 ※現職高校特別、プレゼン特別のプレゼンテーション試験：7月23日(土)
	変更点	①1次試験での筆記試験(教職・一般教養、専門教養)の代わりにSPI3(基礎能力検査)を受検する「外部試験利用特別選考」を実施する。受験資格は特になく、1次試験では筆記試験の代わりにペーパーテストによる基礎能力検査(70分)と集団面接を実施する ②特別選考について、新たに「さいたま市教師塾『夢』講座修了生特別選考B」を実施。令和3年度のさいたま市教師塾『夢』講座修了生のうちB合格者で『夢』講座と同一の校種・教科等を受験し、さいたま市立小学校教員、中学校・高校・中等教育学校教員、特別支援教育担当教員を第1志望とする者を対象として、1次試験の「教職・一般教養」が免除となる(これまでのさいたま市教師塾『夢』講座修了生特別選考については、修了生のうちA合格者のみを対象とした「さいたま市教師塾『夢』講座修了生特別選考A」として、これまで同様1次試験を免除する) ③「スポーツ・芸術等実績者特別選考」について、受験資格を明確化し、高校卒業以後にスポーツ分野では国際大会(オリンピック・パラリンピック・世界選手権・アジア大会・ユニバーシアード競技大会)に日本代表で出場した者や全国大会(全日本選手権・国民体育大会(成年の部)・全日本学生選手権)で団体または個人(団体の場合は正選手として登録され出場した者)で8位以内の入賞者。芸術分野では国際レベルでのコンクール・展覧会にて日本代表もしくはこれに準じる資格で出場した方や全国レベルのコンクール・展覧会等において上位入賞者などの優秀な実績を有する者とする ④「プレゼンテーション特別選考」の受験資格について、「志願者自身の強みやこれまでの経験を学校教育に生かせる者」としていたのを、「国際バカロレアに関する知識、企業経験、情報処理技術に関する資格等、学校教育に生かせる経験、技術、資格をお持ちの方」に変更する ⑤「臨任等教員勤務実績特別選考」の臨任経験について、これまでさいたま市立学校に限定していたのを、全国の国公立学校の臨任経験者(令和2年4月1日～令和4年3月31日までの2年間で通算170日以上勤務経験のある者)に拡大する ⑥免許・資格による加点制度について、小学校教員の場合ではこれまで中学校、高校の免許状所有者について教科を「英語」に限定していたのを英語以外の全教科に拡大したほか、新たに特別支援学校の免許状所有者も加点の対象となる。中学校・高校・中等教育学校教員についても、小学校の免許状所有者に加えて特別支援学校の免許状所有者に拡大し、加点される点数についてもこれまでの10～20点の加点から、30点の加点に統一する 【参考】さいたま市教育委員会・令和5年度採用さいたま市立学校教員採用選考試験(令和4年度実施) https://www.city.saitama.jp/003/002/008/101/005/p086039.html
	特記事項	今回の試験での採用見込数は小学校150名、中学校・高校・中等教育学校80名、特別支援学校50名、養護教諭6名、栄養教諭6名。中学校・高校・中等教育学校で30名減となった以外は、前回試験と同数となっている

千葉県・千葉市	試験日程	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次試験：7月10日(日) ・ 2次試験：小学校以外→①8月19日(金)～21日(日)のうち指定する1日 小学校・特別臨時的任用講師特例→8月26日(金)～28日(日)のうち指定する1日
	変更点	<ul style="list-style-type: none"> ①今回の試験より出願手続きについては全員電子申請による出願となる(特別選考等での提出書類は郵送。一般選考の場合は郵送による提出物はなし) ②1次試験の地方会場(盛岡, 名古屋)では, 中高美術と高校書道を除いた全教科の受験が可能となる ③小学校志願者を対象に, 昨年度試験での選考結果と講師経験により1次試験が免除となる「小学校特例選考」が新設される。対象となるのは, (1)令和4年度(3年度実施)の千葉県・千葉市公立学校教員採用候補者選考で「小学校」を受験して1次試験を合格し, 2次試験を受験した者。(2)令和4(2022)年5月1日現在, 千葉県内の公立学校において千葉県・千葉市が任命する臨時的任用の講師・養護教諭又は会計年度任用職員・非常勤の講師・任期付職員(千葉県内の市町村教育委員会が任命するもので, 千葉県教育委員会が指定するものを含む)として, 1週間あたりの勤務時間が20時間以上(または週12単位時間以上)の者(※ただし令和4年度選考を大学推薦特別選考で受験した者は除く) ④小学校以外の志願者のうち, 小学校教諭免許状を取得または令和5(2023)年3月31日までに取得見込みの者が「小学校併願」で志願する場合には, 希望により1次試験において加点を実施する ⑤昨年度の試験から新設された「新卒専願枠」の対象教科に「中高数学」「中高理科」を追加する ⑥「他県等現職特例選考」について, これまで1次試験で小論文と集団面接を実施していたのを, 今回の試験より1次試験はすべて免除となる ⑦2次試験で小学校, 特別支援教育, 中高保健体育で実施していた「模擬授業2」は, 今回の試験から廃止となる(昨年度と一昨年度は新型コロナウイルス感染防止の観点から実施を取りやめていた) <p>【参考】千葉県教育委員会・令和5年度(4年度実施)千葉県・千葉市公立学校教員採用候補者選考 選考の変更点と新たな取組 https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/syokuin/ninyo/r05/documents/1henkouten.pdf</p>
	特記事項	今回の試験での募集人員は, 小学校620名(前年比-20), 中学校・中高共通690名(前年比-30), 特別支援教育130名(前年比-35), 養護教諭55(前年比+5), 高校と栄養教諭はそれぞれ若干名を見込んでいる
東京都	試験日程	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次試験：7月10日(日) ・ 2次試験：面接→8月20日(土), 21日(日), 27日(土)のうちの指定日 実技→9月4日(日)
	変更点	<p>前回の試験で募集のなかった高校の「商業」, 「農業(畜産系)」および都立大島海洋国際高校の水産担当教員の特別選考を, 今回募集する</p>
	特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ①今回の試験での一般選考での採用見込者数は全体で2,770名となっており, 前年度の2,560名に対して210名増。校種ごとの内訳は小学校(理科コース・英語コース含む)が1,200名(前年度1,010名), 中高共通(国語・社会(地理歴史・公民)・数学・理科(物理・化学・生物)・英語・音楽・美術・保健体育)が1,080名(前年度1,100名), 小中共通(音楽・美術(図画工作))が80名(前年度100名), 小中高共通(家庭)が40名(前年度40名), 中学校(技術)が30名(前年度30名), 高校(情報・商業・工業・農業)が40名(前年度40名), 特別支援学校が220名(前年度180名), 養護教諭が80名(前年度60名)となっている ②1次試験については東京会場のほか, 仙台・大阪・福岡に地方会場を設置する予定としているが, 新型コロナウイルスの感染症の状況により会場が変更となる場合があるほか, 受験者数の状況によっては地方会場での実施について次年度以降見直しを検討する <p>【参考】東京都教育委員会・令和4年度東京都公立学校教員採用候補者選考(5年度採用)実施要綱 https://www.kyoinsaiyopr.metro.tokyo.lg.jp/recruit/data/r05/r05youkou_1.pdf</p>
神奈川県	試験日程	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次試験：7月10日(日) ・ 2次試験：面接→8月8日(月)～20日(土)のうちの指定日(1日) 実技→8月15日(月)～22日(月)のうちの指定日(1日=面接とは別の日)
	変更点	<ul style="list-style-type: none"> ①「前年度試験実績者」と「県内政令指定都市正規教員」を対象とした特別選考を新たに実施する ・「前年度試験実績者」は, 令和3年度実施試験の小学校, 中学校, 高校, 特別支援学校, 養護教諭における2次試験の不合格者のうちの成績上位者を対象とし, 1次試験の教職・一般教養と専門教養を免除する ・「県内政令指定都市正規教員」は, 神奈川県内の政令指定都市(横浜市, 川崎市, 相模原市)に正規教員として勤務する方々に対し, 通勤時間の緩和等, 働きやすい環境を提供するという観点から, 県内政令指定都市立の学校で正規教員として勤務されている者を対象に実施。対象者は, 令和5(2023)年3月31日時点で県内政令指定都市の正規教員として在職3年以上かつ現所属在職3年以上(休職期間を除く)(ただし, 受験する校種等・教科の勤務経験に限る)で, 1次試験の教職・一般教養と専門教養, 2次試験の論文(※1次試験で実施)を免除する ②小学校および中学校の全選考区分の受験者を対象に, 司書教諭の資格所有者に1次試験の筆記試験に5点を加点する <p>【参考】神奈川県教育委員会・選考試験に関する新たな取組について https://www.pref.kanagawa.jp/documents/83736/220209besshi.pdf</p>
	特記事項	<p>今回の試験での募集人員は, 小学校425名(前年比+75), 中学校300名(前年比+75), 高校380名(前年比±0), 特別支援学校155名(前年比+20), 養護教諭25(前年比±0)となっている</p> <p>【参考】神奈川県教育委員会・記者発表資料(募集人員等について) https://www.pref.kanagawa.jp/docs/y4g/cnt/f7272/20220406/10.html</p>
横浜市	試験日程	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次試験：7月10日(日) ・ 2次試験：8月中旬～9月中旬の指定日
	変更点	<ul style="list-style-type: none"> ①新型コロナウイルス感染症拡大防止等の観点から令和2年度, 3年度試験で中止としていた論文試験を, 2次試験日に実施する(論文の試験問題は1次試験の合格発表時にホームページで公開予定) ②特別選考②(社会人・国際貢献活動経験者特別選考)の社会人経験者の資格要件(継続勤務歴)について, 中学校・高校の「美術」「技術」「家庭」については, これまで「直近5年のうち3年以上」としていたものを「直近5年のうち2年以上」に変更する ③特別選考③(大学推薦特別選考)の対象教科に中学校・高校の「美術」「技術」「家庭」を追加する <p>【参考】横浜市教育委員会・横浜市公立学校教員採用候補者選考試験 https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kosodate-kyoiku/kyoiku/bosyusaiyou/seiki/kyoinsaiyou/kyoin.html</p>
	特記事項	<p>今回の試験での募集人員は小学校520名(前年比+20), 中学校・高校210名(前年比-5), 特別支援学校45名(前年比+5), 養護教諭30名(前年比+5), 高校(養護)若干名(前年比±0)。また, 育児休業代替任期付公立学校教員として100名をあわせて募集</p>
川崎市	試験日程	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次試験：7月10日(日) ・ 2次試験：実技→8月9日(火) 面接→8月16日(火)～9月18日(金)のうちの指定日
	変更点	<ul style="list-style-type: none"> ①臨時的任用職員・非常勤講師経験者を対象としていた特別選考IIについて, 新たに一般任期付職員を対象に加える(令和4年5月1日現在で川崎市立学校において一般任期付職員として勤務している者が対象)。また, 臨時的任用職員・非常勤講師の勤務経験数については, これまで通算11月以上としていたものを, 通算1年以上に変更する ②中学校/高校, 高校(工業), 特別支援学校の志願者について, 複数免許取得者(取得見込者を含む)に対する加点対象(条件)を追加 <p>【参考】川崎市教育委員会・令和4(2022)年度実施川崎市立学校教員採用候補者選考試験 受験案内 https://www.city.kawasaki.jp/880/cmsfiles/contents/0000087/87548/R04_01_jukennannnai.pdf</p>
	特記事項	<p>今回の試験での募集人員は小学校220名(前年比+30), 中学校/高校(工業除く)90～95名(前年比+40), 高校(工業)5～10名(前年比±0), 特別支援学校15～20名(前年比+5～10), 養護教諭10名(前年比+5～±0)</p>

相模原市	試験日程	・1次試験：7月10日(日) ・2次試験：8月10日(水)～16日(火)のうちの指定日
	変更点	①1次試験での加点内容について、「小学校全科」および「小学校全科(特別支援)」では、所有する英語関連免許・資格に応じて2段階で加点する。また、「小学校全科(英語コース)」申込者に対する加点については5点から10点に変更する ②2次試験の「小学校全科」の模擬授業については、外国語(英語)の授業も可とする 【参考】相模原市教育委員会・令和4年度相模原市立学校教員採用候補者選考試験実施要項 https://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/_res/projects/default_project/_page_001/005/283/20220404/youkou.pdf
	特記事項	今回の試験での募集人員は小学校100名(前年比+20)、中学校50名(前年比+2)、養護教諭5名(前年比±0)、栄養教諭1名(前年比-1)
新潟県	試験日程	・1次試験：7月3日(日) ・2次試験：8月18日(木)～21日(日)のうちの指定日
	変更点	①今回の試験から、一時休止していた大学院進学者の名簿登録を再開する ②スポーツ・芸術特別選考は休止となる 【参考】新潟県教育委員会・令和5年度(令和4年度実施)新潟県公立学校教員採用選考検査について https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/gimukyoku/gimukyoinnsaiyou.html
	特記事項	今回の試験での採用予定者数は小学校245名(前年比-10)、中・高共通(中学校、高校)177名(前年比+25)、特別支援学校40名(前年比+10)、養護教諭35名(前年比+10)、栄養教諭4名(前年比+2)
新潟市	試験日程	・1次試験：7月3日(日) ・2次試験：8月20日(土)、21日(日) 【参考】新潟市教育委員会・令和5年度新潟市立学校教員採用選考検査 https://www.city.niigata.lg.jp/kosodate/gakko/sensei/kyouin_saiyo/gakkojinji20220408.html
	変更点	①中・高共通の受験者で、高校「情報」の普通免許状を取得または取得見込みの者に対し、1次試験の合計得点に加点する ②1次試験に合格した臨時職員経験者が、次年度に受験する場合は1次試験免除となる条件として、新たに「令和5年4月1日以降、新潟県内の国公立学校で4か月以上勤務する見込みがあり、かつ令和5年5月15日時点で勤務している者」を追加
	特記事項	今回の試験での採用予定者数は小学校95名(前年比+10)、中・高共通60名(前年比+15)、特別支援学校10名(前年比+4)、養護教諭6名(前年比-6)
富山県	試験日程	・1次試験：7月16日(土)、17日(日) ・2次試験：8月20日(土)、21日(日) 【参考】富山県教育委員会・令和5年度富山県公立学校教員採用選考検査の主な日程について https://www.pref.toyama.jp/3001/kurashi/kyoiku/gakkou/kyouin/saiyou/senkoukensa/reiwagonenkijitsu.html
	変更点	①家庭事情等により退職された教員の復職を促進するため、「定年前離職者を対象とした特別選考」を新設する。富山県の公立学校教員採用選考検査に合格し、教諭・養護教諭又は栄養教諭として3年以上の勤務経験(休職、育児休業等の期間を除く)を有し、退職日から10年を経過していない方が対象で、対象者は1次試験を免除する ②特別選考の「大学推薦」枠について、富山県教育委員会が指定する大学数を拡大し、直近3カ年における採用実績に応じて県外大学へも推薦枠を新設する。また、富山県と就職支援協定を締結している県外大学への推薦枠(1名)も新設する。これらの推薦枠については、これまでの「小学校」に加え、「中学校・高校(国語、理科、家庭、農業、水産、福祉)」「特別支援学校A」の志願者も対象とする ③中高「工業」「情報」「技術」の志願者を対象とし、これらの免許状取得に関する課程認定を受けている全国すべての大学(大学院、教職大学院を含む)から推薦を受け付ける。推薦人数は各大学あわせて2名以内 ④「社会人経験B」(一定の条件を満たせば、教員免許状を有さない社会人経験者が受験可能)の受験種目・教科(科目)に「家庭」「農業」「水産」「技術」を追加する。また、「工業」の受験要件について、これまで「修士」以上としていたのを、「学士」以上の学位で受験を可能にする ⑤情報の知識を有する教員採用を促進するため、情報処理技術者試験((独)情報処理推進機構)合格者(基本情報技術者試験も含む)を1次試験の加点対象に追加する 【参考】富山県教育委員会・富山県公立学校教員採用選考検査変更点について https://www.pref.toyama.jp/3001/kurashi/kyoiku/gakkou/kyouin/saiyou/senkoukensa/20220311henkouten.html
	特記事項	今回の試験での名簿登録予定者数は、前年度と同じく、一般選考・特別選考合わせて330名程度(特別選考「障害者」若干名を含む) 【参考】富山県教育委員会・令和5年度任用候補者名簿への登録予定者数 https://www.pref.toyama.jp/3001/kurashi/kyoiku/gakkou/kyouin/saiyou/senkoukensa/20220428tousaiyoteisya.html
石川県	試験日程	・筆記：7月16日(土) ・実技：7月17日(日)(中高保健体育の水泳実技は7月16日に実施) ・面接：7月30日(土)、31日(日)の指定日
	変更点	①特別選考の区分V(大学からの推薦を受けた受験者を対象にした選考)について、工業受験者を対象とした選考に加え、新たに石川県教育委員会が指定する県内4大学(金沢大学・金沢学院大学・金沢星稜大学・北陸学院大学)から推薦を受けた小学校受験者を対象とした選考を実施する。対象者は筆記試験と実技試験が免除される ②教科「水産」を平成6年度選考(平成5年=1993年実施)試験以来29年ぶりに実施。この選考では加点制度を導入し、「1級小型船舶操縦士」の資格を有する者については総合点に10点を加点する。一方、前年度試験で平成30年度試験(平成29年=2017年実施)以来4年ぶりに実施した「看護」については今年度試験では実施しない 【参考】石川県教育委員会・石川県公立学校教員募集ページ http://www.pref.ishikawa.jp/kyoiku/kyousyoku/index.html
	特記事項	今回の試験での採用見込数は小学校140名、中学校・高校130名、特別支援学校35名、養護教諭10名、栄養教諭若干名で前年度と同数としている 【参考】石川県教育委員会・令和5年度石川県公立学校教員採用候補者選考試験の採用見込数について http://www.pref.ishikawa.jp/kyoiku/kyousyoku/exam/pdf/R5saiyomikomisuu.pdf
福井県	試験日程	・1次試験：7月2日(土)、3日(日) ・2次試験：8月4日(木)、5日(金)、8日(月)、9日(火)、10日(水) ※適性検査→1次試験合格者(1次試験全部免除者を含む)を対象に7月下旬にWebで実施
	変更点	これまで外国語資格のみだった加点制度を拡充し、新たに「教育職員免許状複数所有」と「司書教諭資格」による加点制度を導入する。「教育職員免許状複数所有による加点」制度については、小中高の全区分において「特別支援学校」の免許所有(10点)、小学校の区分において中学校の「数学」「理科」「英語」「保健体育」の免許所有(5点)、中高(情報を除く)区分での「情報」の免許所有(5点)、中高一括(全教科)での「小学校」の免許所有(5点)、中学技術での「高校工業」の免許所有(5点)が対象(いずれも令和5(2023)年3月31日までに取得見込みも含む)となり、対象ごとの加算で1次試験、2次試験のそれぞれで最大15点まで加点する。また、「司書教諭」の資格保有者(取得見込みは対象外)についても1次試験、2次試験のそれぞれで5点を加算する 【参考】福井県教育委員会・令和5年度福井県公立学校教員採用選考試験実施要項<抜粋版> https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/gakushin/jouhou_d/fil/R5yoko_bassui.pdf
	特記事項	今回の試験での採用予定者数は小学校122名(前年比+17)、中高一括87名(前年比+10)、中学校(技術)3名(前年比±0)、高校(農業・工業・商業・情報・福祉)10名(前年比+3)、特別支援学校31名(前年比+6)、養護教諭7名(前年比-2)、栄養教諭2名(前年比+1)となっている

	試験日程	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次試験：7月10日(日) ・ 2次試験：小論文・適性検査・実技(中高英語のみ)⇒8月6日(土) 面接⇒8月16日(火)～18日(木)の指定日
	変更点	<ul style="list-style-type: none"> ①補欠合格者制度について、すでに実施している小学校・中学校に加え、特別支援学校・養護教諭にも拡大する ②小学校・中学校・特別支援学校を対象に、基本情報技術者(独立行政法人処理推進機構)と同等以上の資格を有する者に、1次試験の得点に加点する ③小学校・特別支援学校(小学部)を対象に、1次試験の専門教養にて英語に関する問題を出題する ④今年度は高校の「農業(食品化学)」「工業(電気)」が募集教科に加わった一方で、昨年度募集のあった中学の「家庭」、高校の「地歴(日本史)」「公民」と「栄養教諭」は今年度は募集がない(高校の理科については、昨年度の「生物」にかわって今年度は「化学」を募集) <p>【参考】山梨県教育委員会・令和5年度採用山梨県公立学校教員選考検査の内容と配点および実施要項について https://www.pref.yamanashi.jp/gimukyuo/r5kyousaijissiyokou.html</p>
山梨県	特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ①今回の試験での採用予定者数は小学校133名(前年比-27)、中学校74名(前年比+9)、高校22名(前年比-4)、特別支援学校18名(前年比-4)、養護教諭14名(前年比-3) ②山梨県内の公立小学校に教諭として一定期間勤務することを条件に日本学生支援機構から貸与を受けた奨学金の返還の一部を補助する事業を実施。対象となるのは、令和5年度(2023年)に県内の公立小学校の教諭として就業(令和4年度実施の教員選考検査の受験)を予定している者のうち、(1)日本学生支援機構の奨学金(第1種・第2種)を返還予定または返還中(2)山梨県の教員選考検査を初めて受験する(3)原則として教員選考検査を通過した翌年度の4月1日に山梨県内の小学校教諭として就業し(大学院進学等の特例や教育委員会が4月2日以降の採用を承認した場合は除く)、大学を卒業後10年経過するまでの期間、勤務すること。(1)～(3)の条件がすべて合致すれば大学生・大学院生・既卒者のいずれもが応募可能。補助金は原則として大学または大学院を卒業してから10年経過した時に一括して交付するが、希望する場合には採用2年目から概算払により毎年度の交付を選択することもできる。返還補助の対象人数は20名程度(大学生・大学院生18名程度、既卒者2名程度)を予定しているが、補助を受けるためには、教員採用試験の受験前(令和4年度試験を受験の場合は5月末日)までに県教委から補助金交付対象者の認定をあらかじめ受けておく必要がある <p>【参考】山梨県教育委員会・山梨県小学校教員確保推進事業費補助金について https://www.pref.yamanashi.jp/gimukyuo/koudoka/kyouinkakuho.html</p>
	試験日程	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次試験：小学校・中学校・特支⇒7月2日(土)、3日(日) 高校⇒7月2日(土) ・ 2次試験：8月8日(木)～8月12日(金)の指定日
	変更点	<ul style="list-style-type: none"> ①選考日程の見直しとして、長野県で教員として働きたい者の受験機会を確保し、採用内定時期を早めることを目的に、1次試験ではこれまでの7月第2週から第1週へ、2次試験は8月第3週を第2週へ、それぞれ1週間繰り上げるほか、合格発表についても、1次はこれまでの8月上旬から7月下旬へ、最終発表は10月上旬から9月下旬へ、それぞれ繰り上げる。また、高校の試験については、県外および県内遠隔の受験者の移動負担の軽減をはかるため、現在2日間で実施している1次試験について、2日目に実施している「集団面接」を2次試験に移行するほか、2日間に分けて実施している「適性検査(MMPI・クレペリン)」を1日にまとめて行うことによって、1日で完結する日程とする ②学級担任を一定期間経験したことを評価し、現場指導と並行した受験に対する負担を軽減し、実績のある即戦力となる講師の受験を促すことを目的に、県内の小・中学校で学級担任経験のある講師(「県内の小・中学校で直近2年間の学級担任(特別支援学級を含む)経験がある」「選考年度も県内の小・中学校で学級担任を務めている」「小学校の学級担任の経験がある」者)を対象に、小学校教諭を受験する場合に1次試験を免除する ③「大学推薦選考」の推薦条件のうち、中学校教諭免許状について「2教科以上の免許を有している者(取得見込を含む)」を「複数免許が望ましい」に緩和するほか、小学校1種及び中学校教諭免許状が取得できる大学等で、直近3か年の大学別受験者数及び合格者数の実績が一定数ある大学等を指定して推薦を依頼する方向で指定校を拡大する ④昨年度まで特別選考に含まれていた「スポーツの技能や実績のある者を対象とした選考」を、今年度から「スポーツの技能や実績のある人を対象とした教員選考」として実施(新設)する ⑤高校の1次選考での「一般教養(教職・一般教養)」について、試験時間を60分から30分に変更し、配点も60点から30点に変更する。また「小論文」は試験時間を60分から45分に変更し、字数も800字以内から600字以内に変更する ⑥出願方法について、高校のみ今年度から「ながの電子申請サービス」を用いた電子申請での受付となる(選考区分により別途提出書類がある場合は期間中に郵送にて送付)。高校以外の校種については、従来通り郵送または持参による出願となる <p>【参考】長野県教育委員会・令和5年度公立学校教員採用選考情報 https://www.pref.nagano.lg.jp/kyoiku/koko/saiyo-nyuushi/joho/kokokyoinsenkenko05.html</p>
長野県	特記事項	今回の試験での採用予定人数は小学校225名、中学校135名、高校90名、特別支援学校55名、養護教諭(小中)20名、養護教諭(高校)若干名で、前回試験と同じ。このほか、身体に障がいのある人を対象とした選考で10名程度、スポーツの技能や実績のある人を対象とした選考で若干名を採用予定
	試験日程	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次試験：7月23日(土) ・ 2次試験：小学校・中学校・養護・栄養⇒8月16日(水)と8月17日(木)・18日(金)のいずれか1日 高校・特支⇒8月17日(木)と8月16日(水)・18日(金)のいずれか1日
	変更点	<ul style="list-style-type: none"> ①小学校・中学校・養護・栄養の筆記試験(教科専門)の問題数を20問から15問に、高校・特支の筆記試験(教科専門)の問題数を30問から25問に変更 ②小学校の実技試験(体育)を廃止し、中学校・養護・栄養と同様に実技試験を行う。また、実技試験の名称を「模擬授業」に変更する(※模擬授業の主な内容については、4月下旬に公表する「選考の概要」で示される) ③小学校、中学校、養護、栄養において、2次試験で実施していた論述試験を廃止する ④地域限定特別選考(岐阜県内の郡上地域・恵那地域・飛騨地域)の対象について、県外出身者の限定を撤廃 ⑤高校の「情報」志願者に対して、独立行政法人情報処理推進機構が行う情報処理技術者試験において、「基本情報技術者試験(FE)」「応用情報技術者試験(AP)」「情報処理技術者試験要綱の試験区分に基づく高度試験」のいずれか1つ以上の資格を所有する者については、1次試験において20点を加点する(他の加点項目とは別に加点) ⑥前年度第1次選考試験合格者の免除等の内容について、令和4年度試験での1次試験免除対象の条件(令和3年度採用岐阜県公立学校教員採用選考試験において第1次選考試験に合格し、第2次選考試験を受験した者で、令和3年4月より岐阜県内の公立学校で常勤講師又は養護助教諭として勤務している者(任期付採用職員及び特任講師を含む))を、令和5年度試験では「令和4年度採用岐阜県公立学校教員採用選考試験において第1次選考試験に合格し、第2次選考試験を受験した者で、出願締め切り日までに岐阜県内の公立学校で常勤講師又は養護助教諭として勤務を開始している者(任期付採用職員及び特任講師を含む)」については1次試験のすべてを免除。「令和4年度採用岐阜県公立学校教員採用選考試験において第1次選考試験に合格し、第2次選考試験を受験した者」については、1次試験の筆記試験を免除し、面接試験のみを実施する <p>【参考】岐阜県教育委員会・令和5年度採用岐阜県公立学校教員採用選考試験案内【概要版】 https://www.pref.gifu.lg.jp/uploaded/attachment/293630.pdf</p>
岐阜県	特記事項	今回の試験での採用予定数は小学校265名(前年比-30)、中学校150名(前年比-15)、高校100名(前年比-20)、特別支援学校65名(前年比+5)、養護教諭20名(前年比-10)、栄養教諭5名(前年比±0)。なお、小学校については外数として「小中併願」により若干名を採用予定

静岡県	試験日程	<ul style="list-style-type: none"> ・1次試験：7月2日(土), 3日(日) ・2次試験：小学校・中学校・養護・栄養→8月8日(月)～10日(水) 高校→8月17日(水)～19日(金) 特支→8月18日(木)～19日(金)
	変更点	<p>①高校教員の試験実施教科として、前回試験で実施のなかった「福祉」を実施するほか、新たに「水産(総合)」を追加、「工業(建築・土木)」を変えて「工業(建築・デザイン)」を実施する。水産については、前回実施の「水産(機関)」に加えて2科目、工業科目については「機械」「電気電子通信」とあわせて3科目の実施となる。なお「建築・デザイン」については建築のデザインではなく、建築分野と工業デザイン分野からの出題となる</p> <p>②2次試験での小・中学校、養護教員、栄養教員の受験会場が変更となる</p> <p>【参考】静岡県教育委員会・令和5年度静岡県公立学校教員採用選考試験の実施予定 https://www.pref.shizuoka.jp/kyouiku/kk-060/saiyo/documents/r5kyousaiyotei.pdf</p>
	特記事項	今回の試験での採用見込人数は小学校190名(前年比-30)、中学校110名(前年比-20)、高校130名(前年比±0)、特別支援学校100名(前年比±0)、養護教諭9名(前年比-1)、栄養教諭3名(前年比-1)。また、一般選考とは別に障害者特別選考で10名程度を採用予定
静岡市	試験日程	<ul style="list-style-type: none"> ・1次試験：適性検査→6月1日(水)～13日(月)(Web検査) 筆記・実技・個人面接→7月2日(土), 3日(日), 4日(月=特別支援活動推進枠のみ) ・2次試験：適性検査→7月29日(金)～8月9日(火)(Web検査) 個人面接・集団討議→8月17日(水) ・特別選考(第13期しずおか教師塾卒塾認定者対象)：6月11日(土) <p>【参考】静岡市教育委員会・令和5年度静岡市教員採用選考試験日程等について https://www.city.shizuoka.lg.jp/605_000199.html</p>
	特記事項	今回の試験での採用予定数は小学校65名(前年比-10)、中学校35名(前年比-10)、特別支援教育推進枠(小学校・中学校)、養護教員、栄養教員はそれぞれ若干名。また、一般選考とは別に行う障がい者を対象とした選考で3名程度の採用を予定している
浜松市	試験日程	<ul style="list-style-type: none"> ・1次試験：7月2日(土), 3日(日) ・2次試験：8月16日(火), 17日(水)
	変更点	令和5年度(令和4年=2022年実施)試験から「電子申請」を実施。出願は「電子申請」と「提出書類」の両方が必要となる 【参考】浜松市教育委員会・令和5年度採用(令和4年度実施)浜松市立小・中学校教員採用選考試験(任期付教員の選考を兼ねる) https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/kyoshoku/r5kyouinsaiyoushiken.html
	特記事項	今回の試験での採用予定数は小学校90名、中学校60名、発達支援推進教員10名、養護教員は若干名で前年度と同数となっている
愛知県	試験日程	<ul style="list-style-type: none"> ・1次試験：7月23日(土) ・2次試験：8月18日(木), 19日(金)
	変更点	<p>①採用選考試験の願書受付方法を、これまでの郵送による申請から、原則電子申請に変更する</p> <p>②1次試験での小論文について、これまでは1次試験合格者のみ採点し2次試験の選考資料としていたが、今年度試験より1次試験の選考資料とする</p> <p>③高校の「音楽」と「美術」については通常の採用枠と別に、音楽科のある愛知県立明和高校と美術科のある旭丘高校に配置する枠(「音楽(明和)」「美術(旭丘)」)を設ける。「音楽(明和)」「美術(旭丘)」の受験者については1次試験でも実技試験を行う</p> <p>④今年度の募集対象教科に高校の「音楽(明和)」「美術(旭丘)」「工業(建築)」を追加。一方、「工業(土木, デザイン)」「水産(情報通信, 水産食品)」は募集を停止する</p> <p>【参考】愛知県教育委員会・令和5年度(2023年度)採用愛知県公立学校教員採用選考試験について https://www.pref.aichi.jp/site/kyoinsaiyou/2023saiyou.html</p>
	特記事項	今回の試験での採用予定者数は小学校900名(前年比+50)、中学校400名(前年比+20)、高校250名(前年比+50)、特別支援学校100名(前年比+20)、養護教諭50名(前年比±0)、栄養教諭10名(前年比±0)で、合計では前年度より140名増となる1,710名
名古屋市	試験日程	<ul style="list-style-type: none"> ・1次試験：7月23日(土) ・2次試験：8月25日(木), 26日(金)
	変更点	<p>①新たにICT活用能力を有する人を対象とした「特例A4」を新設する。対象となるのは、高等学校・中学校・小学校・幼稚園・特別支援学校の各志願者で、「①ICT支援員能力認定」「②教育情報化コーディネータ検定(1～3級)」「③中学校教諭普通免許状(技術)^(※)」「④高等学校教諭普通免許状(情報)^(※)」のいずれかの認定証等を特例A実績証明書の提出日までに取得している者^(※)に対し、1次試験の「総合教養」の成績に加点する</p> <p>※③と④は所有または令和5(2023)年3月31日までに取得見込みであること。ただし③を申請する場合は中学校(技術)を、④を申請する場合は高等学校(情報)を第一希望として志願する者に限る(併願も可)</p> <p>②中学校・小学校・特別支援学校・養護教員の各志願者が対象となる「特例B4」の対象に、平成29(2017)年度から令和4(2022)年度(令和4年5月31日まで)に名古屋市の「スクール・サポート・スタッフ」としての活動(任用)期間が通算1年(12か月)以上ある者を追加。該当者には1次試験の「総合教養」の成績に加点する</p> <p>【参考】名古屋市教育委員会・【重要】令和4年度実施名古屋市公立学校教員採用選考試験[変更点]のお知らせ https://www.city.nagoya.jp/kyoiku/cmsfiles/contents/0000050/50883/R4_henkoutenn.pdf</p>
	特記事項	今回の試験での採用予定人数は小学校260名(前年比+20)、中学校145名(前年比+35)、高校20名(前年比-5)、特別支援学校25名(前年比+5)、養護教諭15名(前年比±0)、栄養教諭5名(前年比±0)。なお、採用見込人員には障害者特別選考による採用見込人員(約10名)が含まれるほか、小学校と中学校の採用見込人員には特別支援学級担当教員の採用見込人員(約20名)が含まれる
三重県	試験日程	<ul style="list-style-type: none"> ・1次試験：7月23日(土) ※出願時にポルトガル語またはスペイン語で加点申請した者は7月25日(月)にポルトガル語またはスペイン語での面接試験を実施 ・2次試験：実技・技能試験→8月17日(金)※指定した校種・教科等のみ 論述等試験→8月20日(土)※小学校教諭、特別支援学校教諭小学部は英語リスニング試験も実施 面接試験→8月22日(月)～29日(月)までの指定日
	変更点	<p>①前回の試験では県立学校における育児休業等代替任期付講師の選考を兼ねて実施したが、今回の試験では県立学校及び小中学校における育児休業等代替任期付講師・任期付養護助教諭・任期付学校栄養職員等の選考を兼ねて実施する</p> <p>②募集教科について、今年度は新たに高校の「公民」「美術」「工業(工業化学系)」「情報」「福祉」「看護」を募集する一方で、特別支援学校(中学部・高等部)の「音楽」については今年度は募集しない</p> <p>【参考】三重県教育委員会・令和5年度三重県公立学校教員採用選考試験を実施します https://www.pref.mie.lg.jp/TOPICS/m0043900111.htm</p>
	特記事項	今回の試験での採用予定人数は小学校269名(前年比-18)、中学校146名(前年比+7)、高校64名(前年比+13)、特別支援学校17名(前年比-3)、養護教諭13名(前年比-7)、栄養教諭6名(前年比+2)で、総数としては前年度より6名減となる515名となる

	試験日程	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次試験：筆記→6月26日(日) 面接→7月2日(土), 3日(日) ・ 2次試験：8月8日(月)～8月下旬までのうちの指定する1日または2日間
滋賀県	変更点	<ul style="list-style-type: none"> ①滋賀県内の常勤の講師経験者に対する免除要件を、出願する校種・職種と同一の校種・職種で3年(36月)以上の勤務経験から、同一の校種・職種で2年(24月)以上の勤務経験に短縮する ②高等学校教員「情報」の出願において、他の教科の高等学校教諭普通免許状を有する(取得見込みを含む)要件を廃止し、他の教科の高等学校教諭普通免許状を有する(取得見込みを含む)者に加点する ③障害者特別選考の「エントリーシート」に代えて「課題作文」を課す ④高等学校教員の社会人特別選考対象教科に「情報」を追加する <p>【参考】滋賀県教育委員会・令和5年度滋賀県公立学校教員採用選考試験の詳細(滋賀県公立学校教員採用選考試験) https://www.pref.shiga.lg.jp/edu/zinzisaiyou/bosyu/303811.html</p>
	特記事項	<p>今回の試験での採用予定数は小学校250名(前年比+20)、中学校135名(前年比+5)、高校80名(前年比+5)、特別支援学校65名(前年比+10)、養護教諭10名(前年比-15)、栄養教諭5名(前年度は若干名)としている</p>
京都府	試験日程	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次試験：筆記(小論文・専門) = 6月25日(土) 面接 = 7月2日(土), 3日(日), 9日(土), 10日(日)のうちの指定日 ・ 2次試験：実技 = 8月15日(月), 16日(火)のうちの指定日 面接 = 8月18日(木)～24日(水)のうちの指定日 筆答(教職教養) = 8月20日(土)
京都府	変更点	<ul style="list-style-type: none"> ①筆記試験の出題分野の変更や解答時間、出題数を縮減する <ul style="list-style-type: none"> ・ 一般教養試験ではこれまで「一般教養分野」と「教職教養分野」から出題していたのを、「教職教養分野」からの出題のみとし、名称も「教職教養試験」に変更する。なお、全体の問題数はこれまでと同程度とし、解答時間は40分間で変更はない ・ 専門教科試験については、一部の職種・教科[*]について解答時間を90分間から70分間に変更し、出題数も縮減する(※試験時間が70分間となる教科:中学校(音楽, 美術, 保健体育, 技術, 家庭), 高校(保健体育, 美術, 家庭, 情報, 農業, 工業, 商業, 福祉), 養護教諭, 栄養教諭) ②出願方法を原則インターネット出願(電子申請)のみとする ③一部試験免除対象の「前年度1次合格」区分を「前年度合格試験」として細分化し、令和4年度試験での「小論文」「専門」「一般教養」の各試験を受験して、それぞれ基準点を満たした場合に、令和4年度試験の結果通知書を出願時にアップロードすることにより、令和5年度試験で該当する試験(一般教養の場合は「教職教養」)を免除する。複数選択も可。ただし、スペシャリスト特別選考に令和4年度に出願した者、令和5年度に出願予定している者は免除対象外 ④一部試験免除対象の「他府県現職」区分について、新たに「国立、公立の学校で正規教員として在職し、受験校種等・教科と同一校種・教科の正規教員としての経験が令和3年度までに通算2年以上(休職および休業の期間を除く)」の場合に、専門教養試験と教職教養試験を免除することとする。また、これまで一般教養試験免除の対象となっていた「国立、公立および京都府内の私立学校での正規教員在職者」については、現職と同一の校種および教科を受験する場合に限定していたものを、異なる校種・教科の受験でも可とし、教職教養試験を免除する ⑤加点措置の対象に「情報」に関する資格保有者を追加する。高校の志願者(情報を除く)のうち「高等学校情報普通免許状」を有する方(令和5年3月31日までの取得見込みの方を含む)と、小学校・中学校・高校・特別支援学校の志願者のうち「基本情報技術者試験」または「応用情報技術者試験」を合格した方について、いずれも1次試験の専門試験において「5点」を加点する(加点の併用も可能) ⑥スペシャリスト特別選考について、英語が対象から外れ、新たに「スペシャリストⅠ」(理科, 保健体育)と「スペシャリストⅡ」(情報, 農業)に分ける。なお、「農業」については、特に畜産分野における実績のある方を求める ⑦中学校の「美術」「家庭」志願者は、高校の同一教科を第2希望として選択することが可能となる <p>【参考】京都府教育委員会・令和5年度京都府公立学校教員採用選考試験実施要項 http://www.kyoto-be.ne.jp/soumu/05youshiki/05youkou.pdf</p>
	特記事項	<p>今回の試験での採用予定人数は小学校120名(前年比±0)、中学校80名(前年比+5)、高校110名(前年比-40)、特別支援学校50名(前年比-15)、養護教諭10名(前年比±0)、栄養教諭若干名(前年比±0)</p>
京都市	試験日程	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次試験(筆記等) = 6月25日(土) (個人面接) = 6月26日(日), 7月2日(日), 3日(日)のうちの指定日 ・ 2次試験 = 8月20日(土), 21日(日)
京都市	変更点	<ul style="list-style-type: none"> ①2次試験で実施する模擬授業(幼稚園は模擬保育)について、幼稚園、小学校、中学校、養護教諭及び栄養教諭の受験者には、これまで試験日当日に教科・単元・場面等を指定して実施していたのを、事前に指定した教科・単元・場面等で行うようにする。1次試験の結果発表日頃をめどに、模擬授業の実施教科(小学校のみ。国語・算数・社会・理科から指定)、学年および単元等を京都市教育委員会のホームページに掲載し、受験者は指示事項を確認の上、事前に指導案を作成し、試験当日に持参する。なお、高校及び総合支援学校については従来どおり試験日の当日に指定する ②総合支援学校教諭の受験資格のうち、特別支援学校の普通免許状についての要件を緩和し、採用日の時点で「特別支援学校の普通免許状を有しない方」についても受験を可能とする。ただし、採用後3年以内に必ず当該免許状を取得することを出願条件とする ③大学・大学院推薦制度について、推薦対象となる中学校の教科を従来の3教科(数学・理科・技術)から、家庭・英語を加えた5教科に拡大する。また、教職大学院を除く大学からの各校種における推薦可能人数を増やし、これまでの最大15名から24名に拡大する ④京都市立学校園の常勤講師を対象とした「第1次試験免除制度」を拡大し、「前年度実施の1次試験合格者」について、「その翌年度の1次試験を免除(※1)」している制度について、以下の3つの要件に当てはまる場合は、「さらにその翌年度も1次試験を免除(※2)」する <ul style="list-style-type: none"> 1. 上記(※1, 2)のそれぞれの試験の出願時において、京都市立学校園の常勤講師であること 2. 上記(※1)の2次試験の結果が「不合格のうち上位(B-1判定)」または「補欠合格」であること 3. 上記(※2)の試験の出願区分が、(※1)の試験と同一の区分のみであること ⑤昨年度募集のあった高校「音楽」と「工業」の電気電子、土木については、今年度は採用予定から外れる
京都市	特記事項	<p>今回の試験での採用予定数は小学校100名(前年比-50)、中学校60名(前年比-30)、高校15名(前年比±0)、総合支援学校50名(前年比-10)、養護教諭10名(前年比±0)、幼稚園と栄養教諭がそれぞれ若干名で、高校と養護を除き各校種とも採用予定数が前年度より減少し、総計では前年度より100名減となる245名となる</p> <p>【参考】京都市教育委員会・令和5年度京都市立学校教員採用選考試験実施要項 https://www.city.kyoto.lg.jp/kyoiku/cmsfiles/contents/0000296/296301/R5youkou.pdf</p>

大阪府	試験日程	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次試験(筆答) = 6月25日(土) ・ 2次試験(実技) = 7月13日(水)～17日(日)のうちの指定日 ・ 3次試験(筆答・実技) = 8月20日(土), 24日(水), 28日(日)のうちの指定日 (面接) = 8月下旬～10月上旬のうちの指定日
	変更点	<ul style="list-style-type: none"> ①「小学校」の一般選考出願者(1一般対象者)のうち、中学校の「国語」「社会」「数学」「理科」「保健体育」のいずれかの普通免許状を所有(見込みを含む)する者を対象に1次試験・2次試験において加点する ②「支援学校中学部」または「支援学校高等部出願者」(支援学校併願者のうち「中学校」または「高等学校」に出願する者も含む)の出願に必要な免許状における特別支援学校教諭普通免許状の所有要件を、「令和5年4月1日時点で当該免許状を所有する者」だけでなく、「令和4年11月30日時点で教育職員免許法第6条別表第7による特別支援学校教諭二種免許状取得のために必要な単位を修得していることを『学力に関する証明書』により証明できる者」も対象とする <p>【参考】大阪府教育委員会・令和5年度大阪府公立学校教員採用選考テスト受験案内 https://www.pref.osaka.lg.jp/attach/4212/00422257/r5jyukennannai.pdf</p>
	特記事項	今回の試験での採用予定数は、小学校・小中いきいき連携460名(うち小中いきいき連携50名)、中学校400名、高校200名、支援学校200名(ほか自立活動で若干名)、養護教諭25名、栄養教諭10名で、前年度の試験に比べ高校で130名、小学校・小中いきいき連携と支援学校でそれぞれ40名、中学校で10名の減少となっている(養護、栄養は前年度試験時と同数)
大阪市	試験日程	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次試験: 筆答 = 6月25日(土) 面接 = 7月2日(土), 3日(日), 9日(土), 10日(日), 23日(土), 24日(日)のうちの指定日 ・ 2次試験: 筆答 = 8月20日(土) 実技 = 8月17日(水)～9月10日(日)のうちの指定日 面接 = 9月3日(土), 4日(日), 17日(土), 18日(日), 23日(金), 24日(日)のうちの指定日
	変更点	<ul style="list-style-type: none"> ①「小学校」に出願する者のうち「数学」「理科」「保健体育」のいずれかの中学校教諭または高等学校教諭の普通免許状を所有する受験者に対して、1次試験の面接テストの総合得点に90点を、2次試験の筆答テストと実技テストの合計得点に30点を、それぞれ加点する ②大学推薦特別選考特例に「中学校(家庭)」を追加する
	特記事項	採用予定数は小学校が420名、中学校が240名、養護教諭(小中共通)が15名となっており、前回試験と比べ小学校で20名減、中学校で30名増、養護教諭(小中共通)は5名増となっている。なお、幼稚園、幼稚園・小学校共通、養護教諭(幼稚園)、栄養教諭(小中共通)の採用予定数については、それぞれ「若干名」としている 【参考】大阪市教育委員会・令和5年度大阪市立学校・幼稚園教員採用選考テスト【概要及び詳細(受験案内)】 https://www.city.osaka.lg.jp/kyoiku/page/0000561408.html
堺市	試験日程	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次試験: 筆答 = 6月25日(土) 面接 = 7月2日(土), 3日(日), 9日(土), 10日(日), 16日(土), 17日(日), 18日(月)のうちの指定日 ・ 2次試験: 筆答 = 8月20日(土) 実技 = 8月20日(土=中学英語, 中学音楽), 9月11日(日=中学保健体育, 中学美術) 面接 = 8月27日(土), 28日(日), 9月3日(土), 4日(日), 10日(土), 17日(土), 18日(日)のうちの指定日
	変更点	<ul style="list-style-type: none"> ①特定の能力を有する人材を確保するため、「社会人経験者等対象選考(数・理・技)」及び「特別選考(ICT活用能力所有者)」を「特別選考」に統合し、「社会人経験」「JICA経験(※新規)」「ICT活用能力」を有する人を募集する ②小学校における一定の英語力を有する人材を確保するため、小学校教諭普通免許状に加え、英語の中学校教諭普通免許状を有する人を対象とした「小学校外国語推進」を新設する。これに伴い「小中一貫教育推進【英語】」が廃止となる。また、「小学校・幼稚園共通」及び「高等学校」の募集は行わない ③「小学校・特別支援学校小学部」で出願し、中学校の「数学」「理科」「保健体育」「英語」のいずれかの普通免許状を有する者に対する加点の点数を、現行の20点から30点(1次筆答試験免除の選考区分については10点から15点)に引き上げる ④すべての選考区分の出願方法を、堺市電子申請システムによる電子申請に変更する(ただし、大学等推薦対象選考における大学等からの関係書類については郵送となる) <p>【参考】堺市教育委員会・令和5年度(令和4年度実施)堺市立学校教員採用選考試験の試験制度を変更します https://www.city.sakai.lg.jp/kosodate/kyoiku/boshu/kyoshokuinboshu/kyoinsaiyo/saiyosenko/shiken_r05/R5henkouten.html</p>
	特記事項	今回の試験での採用予定数は小学校・特別支援学校小学部と小学校外国語推進で75名(うち小学校外国語推進は3名程度)、中学校・特別支援学校中学部が約75名、養護教諭が6名、栄養教諭が若干名となっており、前年度と比べ中学校・特別支援学校中学部で25名、小学校・特別支援学校小学部で15名増となっている
豊能地区	試験日程	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次試験: 筆答 = 6月25日(土) 面接 = 7月2日(土), 3日(日), 9日(土), 10日(日), 13日(水), 14日(木)のうちの指定日 ・ 2次試験: 筆答 = 8月20日(土) 実技 = 8月15日(月)～28日(日)のうちの指定日 面接 = 8月24日(水)～9月中旬のうちの指定日
	変更点	<ul style="list-style-type: none"> ①大学等推薦制度において、小中免許併有者を対象とした選考区分「大学等推薦者小中チャレンジ対象の選考」を新設する。合格者は、豊能地区内市町立の小学校、義務教育学校へ配属される ②「常勤講師等経験者対象の選考」における受験資格で、豊能地区内の公立小学校・中学校・義務教育学校における講師又は養護助教諭としての勤務経験の通算年数を2年(24月)から1年(12月)に短縮する ③中学校の「英語」実技において「Reading」「Group-discussion」を廃止し、新たに「Speech」及び英語による口頭試問を設ける。また、中学校「保健体育」での球技(選択実技)では、「サッカー」を廃止し「バレーボール」「バスケットボール」の2種目からの選択とする ④「小・中併願」の取扱いと、前年度の大阪府豊能地区公立学校教員採用選考テストの結果に基づいた「第1次選考免除」の取扱いが廃止となる <p>【参考】大阪府豊能地区教職員人事協議会・令和5年度(2023年度)大阪府豊能地区公立学校教員採用選考テストの実施について https://toyono-jinjikyoo.com/teacher/#entry-811</p>
	特記事項	今回の試験での採用予定数は、小学校100名(前年度90)、中学校50名(前年度40)、養護教諭と栄養教諭はそれぞれ若干名(前年度と同じ)の見込み

兵庫県	試験日程	<ul style="list-style-type: none"> ・1次試験：集団面接＝6月25日(土) 筆記試験＝7月24日(日) ・2次試験(模擬授業・個人面接、実験実技試験)：8月16日(火)～28日(日)のうちの指定日
	変更点	<p>①臨時講師及び会計年度任用職員の経験を有する者について、1次試験における加点条件を緩和する。対象となるのは、出願時において兵庫県内にある公立学校(神戸市立学校を除く)及び国立公立大学法人附属学校において、常勤の臨時講師または会計年度任用職員として任用をされている者(在籍校種及び担当教科は問わない)について、平成31(2019)年4月1日～令和4(2022)年3月31日の間に教職経験が常勤の臨時講師として任用が2年以上の場合には20点を加算。常勤の臨時講師または会計年度任用職員として任用が1年以上の場合には10点を加算する</p> <p>②学校教育において様々な分野で活躍できる人材の育成・確保を図るため、1次試験における加点措置の対象に、部活動に関する指導者資格およびICT教育に関する資格(IT・情報系資格)を有する者を新たに追加する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動に関する指導者資格の対象となるのは、日本スポーツ協会公認 競技別指導者資格(⇒10点加点)、各種競技団体が認める審判資格(⇒5点加点)、各種団体が認める文化部活動に関する指導者(師範等)資格(⇒5点加点)の各資格 ・IT・情報系資格の対象となるのは、独立行政法人情報処理推進機構が主催する応用情報技術者試験(⇒20点加点)、基礎情報技術者試験(⇒10点加点)、ITパスポート試験(⇒5点加点)の各資格(ただし、いずれも平成21(2009)年以後に取得したものに限る) <p>④即戦力となる優秀な現職教員を確保するために、公立学校の現職の教諭・養護教諭または栄養教諭で、令和5(2023)年3月31日現在で教職経験を2年以上有する者について、条件が合致した場合に筆記試験を免除する</p> <p>⑤前年度の試験にて中学校・特別支援学校の数学と技術、高校の数学に導入したICTを活用した模擬授業を、今年度試験では新たに中学校・特別支援学校の「社会」と高校の「地理歴史・公民」でも実施する</p> <p>【参考】兵庫県教育委員会・令和5年度兵庫県公立学校教員採用候補者選考試験の主な変更点について https://www.hyogo-c.ed.jp/~kyoshokuin-bo/R40106%20HP.pdf</p>
	特記事項	今回の試験での募集人数は小学校330名(前年比-60)、中学校270名(前年比±0)、高校240名(前年比+20)、特別支援学校100名(前年比±0)、養護教諭35名(前年比-5)、栄養教諭5名(前年比±0)で、合計では前年度の1,025名より45名減となる980名となる
神戸市	試験日程	<ul style="list-style-type: none"> ・1次試験：適性検査＝6月17日(日)～27日(日)(Web検査) 筆記＝6月25日(土) 集団面接＝7月9日(土)～17日(日)のうちの指定日 ・2次試験：筆記(小論文)＝8月21日(日) 実技＝8月16日(火)～31日(水)のうちの指定日 個人面接＝8月16日(火)～9月2日(金)のうちの指定日
	変更点	<p>①中学校・高校の保健体育の2次実技試験のうち、「水泳」と「選択種目(柔道、剣道、ダンス)」を取りやめる(※今年度の試験では器械運動、陸上競技、球技＝バスケットボールを実施)</p> <p>②養護教諭の志願者のうち、看護師免許を所有又は取得見込みの者に対し、希望に応じて2次試験の点数に3点(300点満点中)を加点する</p> <p>③昨年度より実施している「離職者を対象とした特別選考」を、今年度試験では一般選考と同時に実施する。なお、一般選考や障害者特別選考との重複出願はできない</p> <p>④選考種別を「一般選考」「障害者特別選考」「離職者を対象とした特別選考」に整理し、前年度試験での「特例措置選考(社会人経験者・現職教員・臨時的任用教員)」と「大学等推薦特別選考」「第1次選考免除者(前年度1次合格者・任期付合格者)」については、すべて一般選考内の「特例措置区分」とする</p> <p>⑤2次試験で小学校、小学校英語コースのうち特例措置選考「現職教員」区分と大学等推薦特別選考による受験者を対象に実施していた英語筆記試験はなくなり、2次の筆記試験は小論文のみとなる</p>
	特記事項	<p>①今回の試験での募集人数(正規採用分)は幼稚園若干名、小学校110名、小学校(英語コース)10名、中学校・高校100名、特別支援学校30名、養護教諭5名、栄養教諭若干名。このほか、障害者特別選考と離職者を対象とした特別選考でそれぞれ若干名を募集</p> <p>②昨年度の試験での「新型コロナウイルス感染症等への救済措置」(1次試験合格者が新型コロナウイルス感染者または濃厚接触者に指定されたことで2次試験を受験できなかった場合に、翌年度の1次試験を免除する制度)については、今年度試験でも引き続き実施する</p> <p>【参考】神戸市教育委員会・令和5年度(令和4年度実施)神戸市立学校園教員採用候補者選考試験実施要項 https://www.city.kobe.lg.jp/documents/39130/r5jissiyoukou.pdf</p>
奈良県	試験日程	<ul style="list-style-type: none"> ・1次試験：筆記＝6月25日(土) 実技(中高)＝6月26日(日) 集団面接(討議)＝7月9日(土)、10日(日)のうちの指定日 ・2次試験：実技(小)＝8月11日(木・祝) 個人面接＝8月13日(土)～17日(水)のうちの指定日
	変更点	<p>①奈良教育大学大学院専門職学位課程(教職大学院)への進学予定者に対する特例制度について、これまで小学校及び特別支援学校に限定していたものを、全校種に拡大する</p> <p>②高校での募集教科については、前年度募集のなかった「書道」と「情報」を今年度は募集するほか、工業については今年度は「建築・機械」として募集する</p> <p>【参考】奈良県教育委員会・令和5年度奈良県・大和高田市・県立大附属高公立学校教員採用候補者選考試験受験案内 https://www.pref.nara.jp/secure/266128/R5jyukennannai.pdf</p>
	特記事項	今回の試験での採用予定者数は小学校130名(前年比+10)、中学校90名(前年比-15)、高校68名(前年比+10)、特別支援学校35名(前年比+10)、養護教諭12名(前年比+2)、栄養教諭3名(前年比±0)、実習助手・寄宿舎指導員2名(前年比±0)
和歌山県	試験日程	<ul style="list-style-type: none"> ・1次試験：6月25日(土) ・2次試験：集団面接＝8月8日(月) 小論文・実技＝8月9日(火) 個人面接＝8月16日(火)～19日(金)のうちの指定日
	変更点	<p>①中学校および高校の一部教科について「中高共通募集」を実施する。対象は「音楽」「美術」「保健体育」「家庭」の4教科で、当該教科については中学校・高校のいずれかの校種の免許状を保有(取得見込みを含む)していれば受験可能とし、両方の校種の免許状を保有(取得見込みを含む)の場合には「中高共通免許加点」として加点の対象とする</p> <p>②中学校と高校の志願者を対象とした「同一校種複数免許加点」の得点について、中学校の場合は「技術」または「家庭」、高校の場合は「公民」または「情報」が複数免許の対象に含まれる場合は、これまでの校種・教科専門への加点に加えて、一般教養にも加点を行う</p> <p>③特別支援学校志願者のうち、「情報」の免許状保有者に対する加点制度を新たに設ける</p> <p>【参考】和歌山県教育委員会・令和5年度和歌山県公立学校教員採用候補者選考試験実施要項 https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/500300/saiyou/top_d/fil/R5youkou.pdf</p>
	特記事項	今回の試験での募集人員は小学校190名(前年比+10)、中学校・中高共通(計)88名(前年比-8)、高校36名(前年比-4)、特別支援学校41名(前年比-2)、養護教諭10名(前年比-17)で、合計では前年度より21名減となる365名を見込んでいる

鳥取県	試験日程	<ul style="list-style-type: none"> ・1次試験：6月19日(日)→小学校・中学校・特別支援学校・養護教諭，26日(日)→高校・栄養教諭 ・2次試験：8月26日(金)～9月5日(月)の間(予定)で指定する1日または2日
	変更点	<ul style="list-style-type: none"> ①1次試験において中学校の試験を1週繰り上げ，同日実施の他の校種とともに関西会場でも実施する ②新たに栄養教諭の選考試験を実施する ③小学校の専門試験(筆記)において，「数学」「理科」に傾斜配点を行う数学・理科重視型(数理型)を導入する。志願により「数学」と「理科」の得点を1.5倍に引き上げる一方，「社会」と「英語」の得点は0.5倍とするもので，小学校については傾斜配点なしの標準型との2本立てとなる ④前年度より実施した小学校と特別支援学校に加えて，中学校の全教科及び養護教諭においてICT活用に関する技能・実技試験を実施する。なお，小学校と特別支援学校の実技は音楽(弾き歌い)が取りやめとなりICT活用のみとなり，中学校と高校の一部教科で実施する専門試験としての技能・実技試験は2次試験での実施に変更される(※前年度試験では新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から，小学校・特別支援学校の音楽実技(弾き歌い)は中止となり，1次試験で実施予定だった中学校と高校の技能・実技試験は2次試験に移行して実施) ⑤一般選考における複数免許状保有者への加点対象について，中学校において「技術」「家庭」の教員免許状所有者を新たに追加する ⑥専門試験(筆記)の試験時間について，保健体育を除いた中学校の各教科については80分から保健体育と同じ60分に，高校の芸術科目(音楽・美術・書道)は80分から60分にそれぞれ短縮される。新たに実施される栄養教諭の試験時間は60分となる ⑦養護教諭の専門試験(筆記)の試験形式をマークシート方式に変更する ⑧募集教科について，前年度募集のあった高校「書道」は今回の試験では募集がなく，高校水産については前年度の「海洋」にかわり「食品」を募集する <p>【参考】鳥取県教育委員会・令和5年度鳥取県公立学校教員採用候補者選考試験実施要項の骨子 https://www.pref.tottori.lg.jp/secure/1274280/r05youkoukosshi.pdf</p>
	特記事項	<p>今回の試験での採用予定数は，小学校140名(前年比+20)，中学校65名(前年比-5)，高校45名(前年比+5)，特別支援学校25名(前年比±0)，養護教諭8名(前年比+5)，今回より募集を開始する栄養教諭は若干名としている</p> <p>なお，別枠として小学校の採用予定数のうち，特別選考VI「英語力に優れた者を対象とした小学校教諭選考」にて10人程度を採用するほか，特別選考I「障がいのある者を対象とした選考」として，小学校，中学校，高校及び養護教諭，栄養教諭を対象に採用予定数とは別枠で合計5人程度，特別支援学校を対象として別枠で2人程度採用予定としている</p>
鳥根県	試験日程	<ul style="list-style-type: none"> ・1次試験：7月10日(日) ・2次試験：8月20日(土)～28日(日)(※2次追試験→9月11日(日)) ・特別選考：5月4日(水・祝)
	変更点	<ul style="list-style-type: none"> ①1次試験で，これまでの「一般教養試験」が廃止され，「専門教養・教職教養・論述試験」として，メインとなる専門教養問題に教職教養問題(従来より簡素化した基本的な内容)と論述問題(300字程度)を組み入れた1つの試験として実施する ②2次試験では，「小論文試験」を廃止。面接の試験時間をこれまでの20分×2回から30分程度×2回に拡大し，面接試験の中で「模擬授業(養護教諭はロールプレイング)」と「場面指導」を実施する(栄養教諭は「場面指導」のみ実施) ③採用区分として，小学校「特別支援教育担当」を新設する ④高校「情報」の出願要件を緩和し，高等学校教諭普通免許状「情報」のみの所有者の受験を可能とする(複数教科免許状所有者には別途加点する) ⑤受験上の特例措置として，新たに鳥根県内外の国公立学校に常勤の講師等として令和4年5月1日現在で通算1年以上勤務している者(現職)については1次試験で加点するほか，該当者のうち，前年度の鳥根県採用試験の1次試験合格者(2次試験受験対象者)については1次試験の一部を免除する。また，前年度の鳥根県採用試験2次試験において「面接試験・模擬授業等」の段階が「A」だった者の1次試験全免除については，学校勤務者以外(民間，大学院生等)も新たに対象とする ⑥選考にあたって考慮する事項(加点)については，中学校の複数教科免許状「美術」「音楽」「技術」「家庭」所有者への加点を拡大するほか，中学・高校等実技系教科の受験者を対象に大学等の学長(学部長を含む)から推薦を受けた者への加点，教職大学院修了者(修了見込を含む)への加点，小学校英語枠受験者を対象にした英検準1級等の資格取得者への加点を新たに実施する(なお中学・高校・特別支援学校の英語受験者の英検準1級等の資格取得者への加点は廃止) ⑦2次試験不合格者のうち若干名を「繰り上げ登載候補者」として通知し，名簿登載者の辞退によって採用予定者数に満たない場合に，繰り上げ登載候補者を名簿登載する ⑧1次試験について，県外での試験会場として従来の大阪会場に加え，東京会場を新設する ⑨2次試験において，新型コロナウイルス感染や災害などのやむを得ない事情により受験できなかった者を対象とした追試験を設定する ⑩他県の正規現職教員と鳥根県を含む県内外の正規教員経験者を対象に，面接による「特別選考試験」を5月の大型連休期間中に実施する。募集区分は小学校，中学校(全教科)，高校(農業・工業・水産・家庭科・情報)，特別支援学校，養護教諭の各校種・教科で，出願資格・条件としては，他県の正規現職教員については，鳥根県外の国公立学校に正規採用(任期付採用を除く)の教員として，令和5年3月末現在で5年以上(休職，育児休業等の期間を除く)の勤務経験を有する者(現職)で，出願する校種・職種に令和3年度に勤務し，該当教科の授業を主に行っていること。正規教員経験者については，過去に鳥根県内外の国公立学校で正規採用(任期付採用を除く)の教員として，5年以上(休職，育児休業等の期間を除く)の勤務経験のある者で，過去に出願する校種・職種に勤務し，該当教科の授業を主に行っていたこと，となっている <p>【参考】鳥根県教育委員会・令和5年度(令和4年度実施試験)鳥根県公立学校教員採用試験のアウトライン https://www.pref.shimane.lg.jp/admin/syokuin/saiyou/saiyou_info_tchr/index.data/r5_outline_211223.pdf</p>
	特記事項	<p>今回の試験(一般選考分)での募集人数は小学校150名(前年比+15)，中学校85名(前年比+15)，高校38名(前年比±0)，特別支援学校25名(前年比±0)，養護教諭10名(前年比±0)，栄養教諭1名(前年比±0)で，小学校と中学校は前年度より募集人数を増やしている。また，障がいのある方を対象にした選考で前年度と同様に3名程度の採用を予定している</p>
岡山県	試験日程	<ul style="list-style-type: none"> ・1次試験：筆記試験＝7月2日(土) 面接試験＝7月3日(日)→小学校・中学校・特別支援学校・養護教諭，9日(土)→高校 特別面接＝7月3日(日)，9日(土)，10日(日)のうちの指定日 ・2次試験：8月20日(土)～24日(水)(※予備日＝8月27日(土))のうちの指定日
	変更点	<ul style="list-style-type: none"> ①高校「地理歴史」の出願には，高等学校「地理歴史」に加え，「公民」の教諭普通免許状の所有(取得見込みも可)を必須とする ②特別選考D「社会人を対象とした特別選考」の名称を「民間等のキャリアによる特別選考」に変更する。また「工業」と「農業」の出願要件に，公立学校における実習助手の経験を追加する ③特別選考E(教職経験者)のうち「①本県(岡山県)教職経験者対象」での受験者に対しては，これまでの1次の筆記試験に加えて，新たに2次の模擬授業・口頭試問を免除する(1次の特別面接のみを実施) ④出願時に申告する事項として，中学校の「数学」「理科」「英語」「保健体育」の出願者について，「小学校専科への配置の可否」を問う欄を新設する(小学校専科の配置希望を「可」と回答した場合においても，受験内容は中学校の受験内容となる。また，合格した場合は「中学校教諭等」として採用候補者名簿に登載されるが，初任校が小学校となる場合がある) ⑤選考に当たって考慮する事項として，中学校の出願者に「小学校教諭普通免許状の所有(取得見込み可)」を追加する <p>【参考】岡山県教育委員会・令和5年度(令和4年実施)岡山県公立学校教員採用候補者選考試験を実施します https://www.pref.okayama.jp/site/574/774852.html</p>
	特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ①今回の試験での採用見込数は，小学校200名(前年比-10)，中学校100名，高校65名，特別支援学校40名，養護教諭4名(前年比-3)で，小学校と養護が減少した以外は，前年度と同数としている ②新型コロナウイルス感染症対策として，前年度に引き続き1次試験での教職教養については試験時間を短縮して実施するほか，2次試験の小論文を中止する

岡山市	試験日程	<ul style="list-style-type: none"> ・1次試験：総合教養＝7月2日(土) 集団活動＝7月9日(土),10日(日)のうちの指定日 特別面接＝7月2日(土) ・2次試験：教科専門＝8月14日(日) 個人面接, 実技, 模擬授業・口頭試問＝8月14日(日)～18日(木)のうちの指定日
	変更点	<ul style="list-style-type: none"> ①出願方法が岡山市電子申請サービスによる電子申請に変更される ②教職経験者を対象とした特別選考に限り, 年齢制限を50歳未満の者(昭和48(1973)年4月2日以降に生まれた者)に緩和する(その他は従来通り45歳未満(昭和53(1978)年4月2日以降に生まれた者)となる) <p>【参考】岡山市教育委員会・令和4年度実施 岡山市公立学校教員採用候補者選考試験募集概要について https://www.city.okayama.jp/shisei/0000034529.html</p>
	特記事項	<p>今回の試験での募集人員は, 小学校100名, 中学校55名, 養護教諭4名(前年比-1), 栄養教諭1名で, 養護が1名減となった以外は前年度と同数としている</p>
広島県・広島市	試験日程	<ul style="list-style-type: none"> ・1次試験：一般選考, 障害のある者を対象とした特別選考, グローバル人材を対象とした特別選考【外国人留学生等】、夢・チャレンジ!!特別選考, 大学等推薦特別選考⇒7月16日(土) 社会人を対象とした特別選考, 臨時的任用等教職経験者を対象とした特別選考⇒7月17日(日) ・2次試験：8月19日(金)～21日(日) ・現職教員を対象とした特別選考, グローバル人材を対象とした特別選考(教職経験者(英語))：8月27日(土) <p>【参考】広島県教育委員会・令和5年度広島県・広島市公立学校教員採用候補者選考試験の日程について https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/04file/r05nittei.html</p>
	変更点	<ul style="list-style-type: none"> ①中学校教諭(国語, 理科, 技術, 英語)において, 大学等から推薦を受けた者を対象とした「大学等推薦特別選考」を新たに実施する。対象となるのは, <ul style="list-style-type: none"> ①一般選考の受験資格を有すること ②推薦を希望する校種・職種・教科の受験資格に該当する普通免許状取得の課程認定を受けている大学等に在籍し, 令和5(2023)年3月31日までに卒業(修了)見込みであること ③広島県・広島市公立学校教員を第一志望とし, 令和5年4月1日から勤務可能であること(※この選考区分により名簿記載された者は, 採用候補者名簿の有効期間延長はできない) ④広島県・広島市の「求められる教職員像」に示す資質・能力を有する者で学業成績が優秀な者であると, 在籍大学等が推薦する者であること 推薦人数は大学, 大学院(教職大学院を含む)につき, 各教科1名以内。推薦書類の内容を総合的に判断して受験資格の有無を決め, 受験対象者となった者については, 1次試験は教科に関する専門教育科目の筆記試験のみとなる(受験対象者とならなかった場合は, 意向確認の上, 他の選考区分での受験を認める)。 ②昨年, 一昨年と新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため実施を取りやめていた2次試験での実技試験(中・高の一部教科と養護教諭)を, 今年度試験では実施する。実施するのは中学校・特別支援学校中部部の「音楽」「美術」「保健体育」「技術・家庭(技術, 家庭)」「外国語(英語)」。高校・特別支援学校高等部の「保健体育」「芸術(音楽・美術・書道)」「外国語(英語)」「家庭」「情報」「農業」「工業(機械, 電気, 建築, 土木, 化学工学, インテリア)」「商業」「看護」「福祉」と養護教諭(学校保健全般)。なお, 小学校・特別支援学校小学部については, 実技試験を行わない。また, 新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては実技試験を実施しないこともあるとしている。
	特記事項	<p>今回の試験での採用見込人員は, 広島県が総数720名(前年度715名)で, 内訳は小学校315名(前年比+5), 中学校145名(前年比-35), 高校149名(前年比+11), 特別支援学校81名(前年比+11), 養護教諭25名(前年比+5), 栄養教諭5名(前年比-5)。一方, 広島市は総数240名(前年度326名)で, 内訳は小学校110名(前年比-40), 中学校80名(前年比-40), 高校14名(前年比-10), 特別支援学校28名(前年比+6), 養護教諭6名(前年比-2), 栄養教諭2名(前年比±0)で, 総数では広島県が5名増となったのに対し, 広島市は86名の大幅減となっている</p>
山口県	試験日程	<ul style="list-style-type: none"> ・1次試験：7月9日(土),10日(日) ・2次試験：小学校⇒8月20日(土)～23日(日)の間の指定日(2～3日) 小学校以外⇒8月20日(土),21日(日)
	変更点	<ul style="list-style-type: none"> ①受験年齢の上限について, これまで49歳以下としていたのを, 59歳以下(令和5年4月1日時点)に変更する ②高校及び特別支援学校高等部「情報」の出願要件について, これまでは情報の普通免許状に加え, 高等学校の数学, 理科又は家庭のいずれかの普通免許状が必要だったが, 情報の普通免許状のみでの受験を可能とする ③社会人特別選考における高校の「情報」については, 相当の普通免許状を所有していない又は取得の見込みがない場合でも, 実施要項で定める要件を満たす者は受験可能とする。この場合, 採用候補者名簿記載予定者となった後, 教育職員検定に合格し, 特別免許状の授与を受ける必要がある ④スポーツ・芸術特別選考におけるスポーツ分野の対象種目について, これまで実施要項記載の42種目としていたのを, 中学校保健体育志願者は「山口県中学校体育連盟が主催する大会の競技種目のうち実施要項で示すもの」に, 高校保健体育志願者は「山口県高等学校体育連盟又は山口県高等学校野球連盟が主催する大会の競技種目のうち実施要項で示すもの」に変更する ⑤スポーツ・芸術特別選考における中学校(保健体育, 音楽, 美術), 高校(保健体育, 芸術(音楽, 美術))については, 相当の普通免許状を所有していない(または取得の見込みがない)場合でも, 実施要項で定める要件を満たす者は受験可能とする。この場合, 採用候補者名簿記載予定者となった後, 教育職員検定に合格し, 特別免許状の授与を受ける必要がある ⑥選考に当たって, 独立行政法人情報処理推進機構が実施する「ITパスポート試験」「基本情報技術者試験」「応用情報技術者試験」のいずれかの試験に合格している者を考慮の対象に加える(ただし高校情報志願者は除く) <p>【参考】山口県教育委員会・令和5年度(2023年度)山口県公立学校教員採用候補者選考試験について https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/178/153253.html</p>
	特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ①今回の試験での採用見込者数は, 小学校173名(前年比±0), 中学校100名(前年比+14), 高校58名(前年比-9), 特別支援学校24名(前年比±0), 養護教諭5名(前年比-5)。また, 障害者を対象とした選考で9名程度, 看護科教諭特別選考(高校看護)で1名程度を採用見込としており, 総数では前年度と同数の370名程度となる ②小学校の2次試験は新型コロナウイルス感染拡大防止のため, 昨年, 一昨年は2日間に縮減して実施していたが, 今年度の試験では4日間の日程となり, コロナ禍以前の形態に戻す
徳島県	試験日程	<ul style="list-style-type: none"> ・1次試験：7月16日(土＝筆記審査),17日(日＝中・高の実技審査) ・2次試験：小学校・中学校・養護・栄養⇒8月16日(火)～24日(水) 高校・特支⇒8月16日(火)～23日(火)
	変更点	<ul style="list-style-type: none"> ①2次試験の面接試験について, これまで「集団面接」と「個人面接」の両方を実施していたが, 今年度より「集団面接」を廃止して, 「個人面接」の設定時間を拡大する ②小学校の実技について, これまで選択としていた「音楽」と「体育」を廃止し, 必須としていた「英語」のみの実施となる ③高校の「工業」について, 募集教科に「工業デザイン」と「工業化学」を追加する。また「建築・土木」については「建築」と「土木」に分けて募集する ④高校「情報」の免許状取得者は, 教科「情報」を併願で受験することが可能となる ⑤高校「水産」は募集停止となる ⑥特別選考④(現職教員を対象とした選考)のうち, 1次試験免除の対象となる年齢要件を拡大し, 現行の30歳～39歳までを30歳～44歳までとする <p>【参考】徳島県公立学校教員採用案内【徳島で教員になろう!】 https://www.pref.tokushima.lg.jp/ippannokata/kyoiku/gakkokoyoiku/7206153/</p>
	特記事項	<p>今回の試験での採用予定者数は, 小学校・中学校(計)127名(前年比-20), 高校・特別支援学校(計)53名(前年比+1), 養護教諭3名(前年比-2), 栄養教諭1名(前年比±0)。また「身体に障がいのある者を対象とした選考」で5名程度の採用を予定</p>

香川県	試験日程	<ul style="list-style-type: none"> ・1次試験：7月16日(土)～21日(木) 筆記・実技・適性検査は7月16日(土)▶特別支援学校のみと17日(日)▶全校種で実施。面接試験は小学校・中学校は7月18日(月)19日(火)と21日(木)＝関西会場で実施のうちの指定日、養護教諭・栄養教諭は7月18日(月), 19日(火)のうちの指定日、高校は7月16日(土)18日(月)19日(火)のうちの指定日、特別支援学校は7月16日(土)に、それぞれ実施 ・2次試験(面接試験等)：8月20日(土)～24日(水), 26日(金)～28日(日) 小学校・中学校は8月21日(日), 22日(月), 26日(金), 27日(土)と28日(日)＝関西会場で実施のうちの指定日、高校・特別支援学校は8月20日(土)～24日(水)のうちの指定日、養護教諭・栄養教諭は8月21日(日), 22日(月), 26日(金), 27日(土)のうちの指定日に、それぞれ実施
	変更点	<ul style="list-style-type: none"> ①特別選考Ⅰについて、高等学校または特別支援学校の志望する者のうち、国内の教職大学院を修了する予定の者を対象に加える ②特別選考Ⅲ(他の都道府県・指定都市の現職者を対象とする選考)の対象者について、これまでの小学校と中学校の志願者に加え、高等学校および特別支援学校教諭志願者も対象とする ③小学校または中学校の志願者を対象に、関西地区(大阪市)で1次と2次の面接試験を実施する ④出願方法は、原則「インターネットによる出願(電子申請)」のみとする ⑤今年度の募集教科(科目)については、県立学校(高校・特別支援学校)で昨年度募集のあった「世界史」「公民」「物理」「書道」は、今年度は募集しない ⑥栄養教諭の採用先として、これまでの小学校・中学校に加え、県立特別支援学校が追加される <p>【参考】香川県教育委員会・令和5年度香川県公立学校教員採用選考試験実施要項 https://www.pref.kagawa.lg.jp/documents/15071/01_05youko.pdf</p>
	特記事項	今回の試験での採用予定者数は小学校・中学校が205名(前年比+5)、高校・特別支援学校が41名(前年比-10)、養護教諭が6名(前年比+2)、栄養教諭が2名(前年比+1)
愛媛県	試験日程	<ul style="list-style-type: none"> ・1次試験：7月21日(木), 22日(金) ※予備日:7月23日(土) ・2次試験：8月23日(火)～26日(金)の指定日
	変更点	<ul style="list-style-type: none"> ①今年度の試験より前後期制として実施し、従来の日程での試験を前期選考試験として実施。新たに設ける後期選考試験は、他県現職教員を対象とした試験(現職教員特別選考)として10月(予定)に実施する。「現職教員特別選考」については、志願する校種により以下の通りの実施となる <ul style="list-style-type: none"> ・小学校、中学校志願者については、前期・後期の両方の選考試験で実施する。ただし、出願については前期と後期の重複申し込みはできず、いずれか一方の日程のみとする。試験内容は「適性検査、小論文及び面接」を行う(前期の日程で受験の場合は1次試験を免除) ・高等学校、特別支援学校志願者については、試験内容を変更した上で、後期選考試験のみで実施する。試験内容については、高校は「適性検査と模擬授業及び面接」、特別支援学校は「適性検査と場面指導及び面接」を行う ・養護教諭・栄養教諭志願者については、これまで同様に前期選考試験の日程で実施し、1次試験の「教職専門科目(教職教養)」が免除となる ※後期選考試験の志願要項等は8月下旬に公表の予定 ②新たに、「大学等推薦特別選考」を実施する。対象となるのは「小学校」と高校の「工業」「情報」で、当該試験区分に係る一種(専修)普通免許状取得のための課程認定を受けており、通信制の課程によらない大学、大学院及び教職大学院において、推薦条件(人物、成績)を満たし、学長が推薦する者。対象者は小学校では1次試験のすべてを、高校では1次試験の「教職教養」を免除する ③「社会人特別選考」の対象教科を、高校「工業」に加えて、高校「情報」および「福祉」にも拡大する。また、受験資格については、昨年度までの「『学士以上の学位』『民間企業等での5年以上の勤務経験』『受験科目に直接関係のある公的資格の保有』のすべての条件を満たし『社会的信望及び教員としての熟意と識見』を有する者」としていたのを、今回より「『学校等で常勤の教員として4か月以上の勤務経験』『民間企業等での3年以上の勤務経験』『教科に關係する資格(公的なものに限らない)の保有』のいずれかの条件を満たし『社会的信望及び教員としての熟意と識見』を有する者」とする ④高校「情報」の志願要件について、昨年度までの「情報」の免許状に加えて、高等学校で採用予定者のある他教科の免許状が必要だった要件を撤廃し、高等学校教諭普通免許状「情報」のみで受験可能とする。なお、「情報」の免許状に加えて、採用予定者のある高等学校教諭普通免許状(情報、農業、工業、商業及び福祉を除く)を有する者に対しては、新たに20点を加算する ⑤高校「工業」の出題範囲・解答方法について、これまで、あらかじめ選択した受験科目(機械、電気等)の問題を解答していたのを、全員が同じ問題(機械、電気、情報、工業化学、建築、土木の各分野から出題)を解答する形式に変更する
	特記事項	今回の試験での採用予定数は、小学校190名(前年比±0)、中学校120名(前年比+15)、高校・特別支援学校115名(前年比+25)、養護教諭10名(前年比±0)、栄養教諭若干名(前年度と同じ)。また、障がい者特別選考で10名程度を採用予定としている 【参考】愛媛県教育委員会・愛媛県教員採用情報 https://www.pref.ehime.jp/k70300/teacher-employment/
高知県	試験日程	<ul style="list-style-type: none"> ・1次試験：6月18日(土) ・2次試験：実技＝8月5日(金) 面接＝小学校・中学校・特支小学部▶8月6日(土), 7日(日) 小中養護・小中栄養・高校・特支中・高等部▶8月20日(土), 21日(日)
	変更点	今回の試験より、特別支援学校教諭に出願する場合に、特別支援学校教諭および受験する各部に相当する校種の両方の普通免許状を有することを受験資格とする(受験年度内の取得見込を含む)。ただし令和3(2021)年4月以前に大学等を卒業した者については、令和7年度試験(令和6年＝2024年実施)からとなる 【参考】高知県教育委員会・令和5年度(令和4年度実施)高知県公立学校教員採用候補者選考審査の概要について https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310601/files/2017011000217/file_2022282153530_1.pdf
	特記事項	今回の試験での採用予定数(一般選考)は、小学校130名(前年比±0)、中学校68名(前年比+3)、高校41名(前年比+8)、特別支援学校23名(前年比-7)、小中養護教諭10名(前年比+1)、小中栄養教諭3名(前年度は特支で1名)となっている
福岡県	試験日程	<ul style="list-style-type: none"> ・1次試験：7月9日(土), 10日(日) ・2次試験：8月中旬～9月上旬
	変更点	<ul style="list-style-type: none"> ①すべての試験区分で原則電子申請による出願とする ②小学校での「教職教養」を廃止し、専門教科の試験内で教職教養に関する試験を実施する。また、専門教科内で実施していた英語リスニングテストを廃止する ③一般選考における教職経験者特例において、中学校の「技術」「家庭」を受験する者は専門教科を免除する ④特別支援学校を受験に必要な特別支援学校教諭普通免許状については、「視覚障害」「聴覚障害」「知的障害」「肢体不自由」「病弱」のいずれか一つの領域があればよい ⑤特別支援学校の第1次試験合格者特例の対象者については、前年度(令和4年度)福岡県公立学校教員採用候補者選考試験の1次試験に合格した者で、2次試験の個人面接及び模擬授業の評価が「C」以上の者とする <p>【参考】福岡県教育委員会・令和5年度福岡県公立学校教員採用候補者選考試験実施要項 https://www.pref.fukuoka.lg.jp/uploaded/attachment/164394.pdf</p>
	特記事項	今回の試験での採用予定数は、小学校(英語有資格者を含む)660名(前年比±0)、中学校340名(前年比+50)、高校151名(前年比-3)、特別支援学校110名(前年比±0)、養護教諭34名(前年比-2)、栄養教諭9名(前年比+2)。このほか、障がいのある人を対象とした特別選考で10名程度の採用を予定しているほか、高校については久留米市立高校と古賀高等学校組合が運営する古賀寛成館高校で各2名ずつの採用を予定している

福岡市	試験日程	<ul style="list-style-type: none"> ・教職経験特別選考：4月29日(金・祝)～5月8日(日)の間の指定日 ・一般選考：1次試験：7月10日(日) 2次試験：8月4日(木)～28日(日)の間の指定日 ・大学連携特別選考(特別面接)：6月上旬または8月下旬～9月上旬
	変更点	<p>令和5年度採用試験から試験制度を変更し、例年7～8月に実施している従前の採用試験を「一般選考試験」とし、新たに「大学連携特別選考試験」と「教職経験特別選考試験」を実施する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「大学連携特別選考試験」(「福岡市立学校で教育実習を行った現役学生を対象とする特別選考」)では、福岡市と「教員養成にかかる連携・協力協定」を締結している大学等に在籍し、福岡市立学校で教育実習を実施した学生を対象とし、教育実習の評価が一定水準以上あり、かつ大学等からの推薦が得られた者に対して、試験の全部または一部免除を実施する。採用区分および教育実習の実施時期により選考区分が分けられ、原則として書類選考(書類選考Ⅰ＝小・中学校教諭、養護教諭免許状にかかる教育実習の実習校評価と大学からの推薦書、書類選考Ⅱ＝特別支援学校教諭免許状にかかる教育実習の実習校評価と大学からの推薦書)と、特別面接(一部の区分では特別面接の代わりに2次試験を受験)で選考を行い、特別面接を行った受験者については原則として採用候補者名簿に登録される。なお、書類選考Ⅰで不合格となった場合には一般選考試験にて受験し、書類選考Ⅰを合格し書類選考Ⅱで不合格となった場合には2次試験を受験する ・「教職経験特別選考試験」(「福岡市立学校の講師等を対象とする特別選考」)では、令和3年度に福岡市立学校での勤務経験がある講師等を対象に勤務実績を活用した選考で、一般選考試験に先立ち4月末～5月上旬に別途試験(面接試験)を実施する。特別選考とは別に、一般選考試験も受験可能 <p>【参考】福岡市教育委員会・令和5年度福岡市立学校教員採用候補者選考試験(一般選考・大学連携特別選考)について https://www.city.fukuoka.lg.jp/kyoiku-iinkai/kyoshokuin/ed/R5_ippan_daigakutokusen.html 【参考】福岡市教育委員会・令和5年度福岡市立学校教員採用候補者選考試験(教職経験特別選考)について https://www.city.fukuoka.lg.jp/kyoiku-iinkai/kyoshokuin/ed/R5_kyosyoku_tokusen.html</p>
	特記事項	<p>①今年度の一般選考での採用予定数は小学校294名(前年比+14)、中学校「中高枠」での採用予定者を含む166名(前年比-5)、高校8名(前年比-5)、特別支援学校87名(前年比+12)、養護教諭8名(前年比-4)、栄養教諭1名(前年比±0)で、合計では前年度より12名増の564名となる(※新たに実施する「教職経験特別選考」と「大学連携特別選考」での採用予定数は含まれない)</p> <p>②今年度試験での高校の募集教科は「国語」「公民」「家庭」「外国語(英語)」「工業(建築系)」「商業」の6教科となる</p> <p>【参考】福岡市教育委員会・採用予定者数及び高等学校教諭の募集科目について https://www.city.fukuoka.lg.jp/data/open/cnt/3/23318/1/saiyouyoteishasuu2.pdf?20220428131544</p>
北九州市	試験日程	<ul style="list-style-type: none"> ・1次試験：7月10日(日) ・2次試験：8月8日(月)～12日(金)と15日(月)～21日(日)のうちの指定日 <p>※現職教員枠の試験は10月下旬に実施予定</p>
	変更点	<p>①小学校高学年における教科担任制の充実や小中一貫教育の推進等に資する教員の確保を目的に、新たな試験区分として「小学校教員(小中一貫枠)」を設け、従来の「小学校教員」とは募集人員数を別立てして選考する。受験資格は小学校教諭普通免許状と中学校教諭普通免許状(国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭又は英語に限る)の所有者又は取得見込みの者で、「小中一貫枠」で志願する者については、特別選考「複数免許状所有者特別選考」に出願したものとし、1次試験が免除となるほか、特別枠の採用候補者にならなかった場合には、「小学校教員」区分で改めて選考する</p> <p>②「複数免許状所有者特別選考」について、新たに、養護教員のうち「看護師免許」を所有する者又は取得見込みの者を対象に加える</p> <p>③「大学等推薦特別選考」について、推薦対象として中学校の対象教科を全教科に拡大し、推薦可能人数も各教科1名以内から2名以内に広げる</p> <p>【参考】北九州教育委員会・令和5年度北九州市公立学校教員採用候補者選考試験での変更点について https://www.kita9.ed.jp/kyoushokuin-c/r4henkou.pdf</p>
	特記事項	<p>今年度の採用予定数は小学校(幼稚園を含む)140名(前年比±0)、小学校(小中一貫枠)5名(前年度募集なし)、中学校63名(前年比+13)、特別支援学校50名(前年比±0)、養護教諭7名(前年比±0)、栄養教諭3名(前年比±0)で、合計では前年度より18名増の268名となる</p> <p>【参考】北九州市教育委員会・令和5年度(令和4年度実施)北九州市公立学校教員採用候補者選考試験の採用予定数について https://www.kita9.ed.jp/kyoushokuin-c/r5saiyouyoteisuu.pdf</p>
佐賀県	試験日程	<ul style="list-style-type: none"> ・1次試験：7月10日(日) ・2次試験：8月20日(土)～23日(火) <p>・小学校を対象とした2回目の試験(秋選考)：11月19日(土)、20日(日)</p>
	変更点	<p>①受験のチャンスを拡充し、佐賀県で教員として働くことを希望する人材を一人でも多く確保するために、小学校において、秋に2回目の採用選考試験を実施する(秋選考)。2次試験の合格発表を終えた時点の9月下旬ごろから再度募集を行い、11月中旬に別途試験を実施する</p> <p>②県内外から専門性の高い優秀な受験者を確保するため、小学校、中学校(佐賀県教育委員会が指定する教科)において、「大学・大学院推薦制度」を新設する。佐賀県内にある佐賀大学と西九州大学のほか、九州・沖縄・中国地方にある大学・大学院等の中から15校程度を指定し、それらの大学・大学院等からの推薦を受けた受験者については、1次試験を免除する</p> <p>③特色ある特別選考として、「さがUJIターン現職特別選考」と「さが離島特別選考」を新設する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「さがUJIターン現職特別選考」は、即戦力となる優秀な人材を確保するために、小学校教諭等において、他都道府県(政令市)の小学校の現職教員で、佐賀県に移住(U・J・Iターン)を考えている教職員に対して特別枠を設けて実施。1次試験は書類審査、2次試験は個人面接(模擬授業を含む)を、佐賀会場と東京会場の2カ所で行う。なお「さがUJIターン現職特別選考」で不合格となった者は一般選考の1次試験免除者として2次試験を受験することができる ・「さが離島特別選考」は唯一無二の特色ある学校づくりに尽力し、地域を大切にす人材を確保するために、小学校、中学校、養護教諭において、唐津市の離島勤務を前提として募集、採用選考を行う。原則として採用から8年間は唐津市内の勤務とし、その間に離島配置を行う <p>【参考】佐賀県教育委員会・令和5年度佐賀県公立学校教員採用選考試験の変更点をお知らせします https://www.pref.saga.lg.jp/kyoiku/kiji00384549/index.html</p>
	特記事項	<p>今回の試験での採用予定数は、小学校190名(前年比±0)、中学校95名(前年比+5)、高校33名(前年比±0)、特支36名(前年比+10)、養護13名(前年比-3)、栄養1名(前年比±0)となっている。また、小学校を対象とした秋選考では20名程度を採用予定としている</p>

	<p>試験日程</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1次試験：7月10日(日) ・2次試験：8月25日(木)～9月5日(月)のうちの指定する1日または2日 ※小学校・中学校本免申請者で、関東・関西会場での受験を希望する者の試験：9月10日(土=東京), 11日(日=神戸) <p>変更点</p> <p>①中学校英語及び高等学校英語科教諭の志願者で、CEFR B2相当以上の英語力を有し、教員としての熱意と識見を持った優秀な人材を採用する「英語資格等保有者対象特別採用選考」を実施する。対象区分として「(1)中学校英語、高校英語教諭普通免許状を取得又は取得見込みの者」「(2)民間企業等において、正規採用として、日常的に英語を使用した業務に従事した勤務経験が直近5年間で3年以上ある者」「(3)英語以外の普通免許状を取得又は取得見込みの者で、志願校種の英語教員として志願する者」「(4)大学又は大学院在学中に『教育の基礎的理解に関する科目』や『生徒指導、教育相談等に関する科目』を5単位以上取得し、かつ英語の技能を活用して学校現場における2週間程度の英語教育インターンシップ等を終了している者(予定者を含む)」とし、(2)と(4)については教員免許状がなくても出願可能とする。対象者については(1)の場合は1次試験のすべてを免除し、(2)(3)(4)については1次試験の「教職・一般教養」を免除する。なお、採用の場合には(2)については特別免許状による採用、(3)と(4)については臨時免許状による助教諭採用とし、採用後の勤務状況が良好と認められた場合は、翌年度から特別免許状による教諭として任用する</p> <p>②本県(長崎県)本務教員として5年以上の勤務経験があり、育児等や諸般の事情を理由に退職した者で、専門的な知識・技能を有し、教員としての熱意と識見を持った優秀な人材を採用する「本県本務教員退職者対象特別採用選考」を実施する。対象となるのは「(1)本県公立学校の本務教員として採用され、受験校種と同一の教職経験を5年以上有する者(休職、育休等の期間は除く)」「(2)育児等(育児、介護等)や諸般の事情(家族の転居等による転居、転職等)を理由に退職した者で、平成31(2019)年4月1日から令和4(2022)年3月31日までに本県公立学校の臨時的任用教員として通算で12月以上の勤務実績がある者」「(3)懲戒処分歴がない者」で、対象者は1次試験のすべてを免除する</p> <p>③理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の有資格者で、障害の重度重複化や多様化に対応できる専門的な知識・技能を有し、教員としての熱意と識見を持った優秀な人材を採用する「理学療法士・作業療法士・言語聴覚士有資格者対象特別採用選考」を実施する。対象となるのは「理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の資格を有し、当該資格に基づく、重症心身障害児(者)の臨床経験が平成29(2017)年4月1日以降、令和4年5月31日までに3年以上ある者」で、対象者は第1次試験のすべてを免除する</p> <p>④特別免許状による採用について、新たに中学校の「英語」「家庭」、高校の「英語」、特別支援学校の「自立活動」を追加する。また、出願資格を改定し、教科に関する専門的な知識経験又は技能を有すると認められる資格や修士号・博士号の学位の保有(原則として専攻分野に相当する教科に関する専門的知識経験等を備えていること)、各種競技会・コンクール・展覧会における実績(オリンピック、世界規模、全国規模のもので優秀な成績を収めた者)など「優れた知識経験等を有することが確認できる場合」でも出願を可能とする</p> <p>⑤中学校及び高等学校の「家庭科」教諭として志願できる者(出願資格)として、大学卒業者又は大学院修了者(予定者を含む)で「栄養教諭の普通免許状を取得又は取得見込みの者」を新たに追加する。ただし、合格者は臨時免許状による助教諭採用とし、採用後の勤務実績が良好と認められた場合は、翌年度から特別免許状による教諭として任用する</p> <p>⑥小学校、中学校及び高校志願者が、特別支援学校を第2志望とすることができる制度は、廃止となる</p> <p>⑦2次試験については、これまで「A日程(8月中旬実施)」「B日程(8月下旬～9月上旬実施)」「C日程(小学校・中学校本免申請者で関東・関西会場での受験を希望する者を対象にした試験)」に分かれていたが、A日程で実施していた適性検査をオンラインで実施し、小論文を廃止することで、A日程がなくなる</p> <p>⑧2次試験で実施する個人面接について、これまで養護教諭受験者以外の全受験者を対象としていた「教科に関する課題面接を含む」形が小・中学校受験者のみとなり、高校と特別支援学校受験者は新たに「模擬授業を含む」形に変更される(養護教諭については引き続き「児童生徒への対応・技能等に関する課題面接を含む」形で実施)</p> <p>⑨高校の募集教科では、前年度実施のなかった「書道」「看護」「福祉」と工業の「建築」「工業化学」が募集教科に加わり、逆に前年度募集のあった高校理科の「地学」が今年度の募集教科から外れている</p> <p>【参考】長崎県教育委員会・令和5年度長崎県公立学校教員採用選考試験について https://www.pref.nagasaki.jp/object/shikaku-shiken-bosyu/shokuinsaiyo-shikaku-shiken-bosyu/495658.html</p> <p>特記事項</p> <p>今回の試験での採用予定者数は小学校260名(前年比+25)、中学校130名(前年比+25)、高校65名(前年比+8)、特別支援学校30名(前年比-15)、養護教諭20名(前年比±0)。このほかに障害者特別選考で20名の採用を予定している</p>
<p>熊本県</p>	<p>試験日程</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1次試験：7月10日(日) ・2次試験：8月14日(日)、8月15日(月)～19日(金)の指定日 <p>変更点</p> <p>①定年延長を見据え、多様な人材確保のため、受考資格の年齢制限を59歳以下とする</p> <p>②1次試験における加点制度の対象を拡大する(下線部分が加点制度の拡大対象者)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校、中学校教諭等受考者のうち、小及び中学校教諭の免許状取得者及び取得見込者 ・小学校、中学校、高等学校教諭等受考者のうち、特別支援学校教諭の免許状取得者及び取得見込者 ・高等学校教諭等受考者(高等学校「情報」受考者は除く)のうち、高等学校教諭「情報」の免許状取得者及び取得見込者 <p>③2次試験における中学校家庭の実技審査を廃止する</p> <p>④特別支援学校教諭免許状取得を目的として、特別支援学校教諭免許状の課程認定を有する大学の専攻科に進学する者を、採用候補者名簿登載期間の延長者の対象とする</p> <p>⑤元本県教諭等(現職教員を除く)の2次試験における論述を廃止する</p> <p>⑥小学校の1次試験を東京会場においても実施する</p> <p>【参考】熊本県教育委員会・令和5年度熊本県公立学校教員採用選考審査の主な変更点及び日程について https://www.pref.kumamoto.jp/uploaded/life/134056_266120_misc.pdf</p> <p>特記事項</p> <p>今回の試験での採用予定者数は小学校180名(前年比±0)、中学校84名(前年比+11)、高校53名(前年比+19)、特別支援学校70名(前年比+29)、養護教諭13名(前年比-2)、栄養教諭2名(前年比-1)、障がいのある者を対象とした特別選考8名(前年比±0)で、合計では前年度より56名増の410名となる</p>

	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="228 89 326 1581">試験日程</td> <td data-bbox="326 89 1524 1581"> <ul style="list-style-type: none"> ・1次試験：7月10日(日) ・2次試験：8月16日(火)、8月17日(水)～29日(月)の指定日 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="228 156 326 996">変更点</td> <td data-bbox="326 156 1524 996"> <p>①1次試験について、熊本会場と並行して、大阪会場でも1次試験を実施する</p> <p>②小学校の2次試験で行っていた「水泳」の実技試験を廃止し、合格者に対する研修に変更する</p> <p>③中学校・高校において1次試験で実施していたすべての実技試験を、2次試験に移行する</p> <p>④現場経験のある人材(熊本市の臨時的任用教員・他県等現職教諭)の特別選考を新設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熊本市の臨時的任用教員等を対象とした特別選考は、栄養教諭を除く全校種で実施し、令和4年5月1日において熊本市立学校の臨時的任用教員(常勤講師、養護助教諭)または育児休業代替任期付教員として任用されており、通算で36箇月以上の勤務経験がある者が対象。対象者は1次試験が免除される ・他県等現職教員を対象とした特別選考は、全校種で実施し、国公立学校(熊本県公立学校を除く)における正規教員(熊本市立学校正規教員および任期を定めて採用された教員を除く)として現に勤務しており、令和5年3月31日までに、受験する同校種・同職種・同教科等で通算して36箇月以上の勤務経験となる者(他県等との併願は不可)が対象。対象者は1次試験が免除される <p>⑤高校改革に伴う特別選考の新設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年4月から開校予定の千原台高等学校改革において「情報やビジネス、スポーツに関する高い専門性を有するスペシャリストを育成する」の教育理念に合致する、スペシャリストを対象とした教員採用の特別選考を行う。対象となるのは、国際レベルの大会に日本代表として出場若しくは、全国大会へ通算3回以上出場した実績を有する選手、または国際レベルの大会に日本代表の選手を出場若しくは、全国大会へ通算3回以上選手を出場させた実績を有する指導者で、対象者には「模擬授業」と「面接1・面接2」を実施する(※志願書の他に申請書及び証明書類の提出が必要)。採用予定は若干名 <p>⑥専門性の高い教員を確保するために、加点制度を拡大する</p> <p>(1)第一次選考試験における加点対象の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数校種免許状取得者及び取得見込者に対する加点の対象校種に「幼稚園」と「高校」を追加。対象の免許状についても「幼稚園教諭」と「高等学校教諭」を追加する。受験校種以外の普通免許状取得者及び取得見込者が対象で、1次試験において5点を加点する(受験校種以外の普通免許状1つ以上で5点を加点する。また、「中学校・高校」は中学校の普通免許状だけで受験できるため、高等学校教諭普通免許状取得者及び取得見込者も加点の対象とする) ・小学校、中学校・高校を対象に「司書教諭」資格取得者及び取得見込者について、1次試験において5点を加点する <p>(2)第二次選考試験における加点制度の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「複数校種免許状取得者及び取得見込者」及び「特別支援学校等教諭免許状取得者及び取得見込者」に対して、令和3年度実施試験では1次試験のみ加点していたのを、今回の試験からは2次試験でも引き続き加点する <p>⑦2次試験において、より実践的指導力を重視するため、配点を見直す。具体的には、これまで「実技」と「模擬試験等」をあわせて80点の配点となっていた幼稚園と中高英語については、「実技」で60点、「模擬授業等」で60点の配点に改める。実技が廃止となる小学校については「模擬授業等」のみで60点とする。また、中学校・高校、養護、栄養についてはこれまで「実技」「模擬試験等」の配点がそれぞれ50点となっていたのを、いずれも60点に引き上げる。一方、個人面接(2回実施)の配点については、これまでの180点から150点に変更される</p> <p>【参考】熊本市教育委員会・令和5年度(2023年度)熊本市立学校教員採用選考試験 主な変更点及び日程について https://www.city.kumamoto.jp/common/UploadFileDsp.aspx?c_id=5&id=2481&sub_id=169&flid=292241</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="228 996 326 1081">特記事項</td> <td data-bbox="326 996 1524 1081"> <p>今回の試験での採用予定者数は小学校165名(前年比+20)、中学校・高校73名(前年比+11)、高校(商業、情報、特別選考での合計)3名(前年度募集なし)、養護教諭8名(前年比+2)、栄養教諭2名(前年比±0)、幼稚園2名(前年比±0)、特別支援教育推進(小、中・高、幼の合計)18名(前年度は小、中・高の合計で10名)</p> </td> </tr> </table>	試験日程	<ul style="list-style-type: none"> ・1次試験：7月10日(日) ・2次試験：8月16日(火)、8月17日(水)～29日(月)の指定日 	変更点	<p>①1次試験について、熊本会場と並行して、大阪会場でも1次試験を実施する</p> <p>②小学校の2次試験で行っていた「水泳」の実技試験を廃止し、合格者に対する研修に変更する</p> <p>③中学校・高校において1次試験で実施していたすべての実技試験を、2次試験に移行する</p> <p>④現場経験のある人材(熊本市の臨時的任用教員・他県等現職教諭)の特別選考を新設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熊本市の臨時的任用教員等を対象とした特別選考は、栄養教諭を除く全校種で実施し、令和4年5月1日において熊本市立学校の臨時的任用教員(常勤講師、養護助教諭)または育児休業代替任期付教員として任用されており、通算で36箇月以上の勤務経験がある者が対象。対象者は1次試験が免除される ・他県等現職教員を対象とした特別選考は、全校種で実施し、国公立学校(熊本県公立学校を除く)における正規教員(熊本市立学校正規教員および任期を定めて採用された教員を除く)として現に勤務しており、令和5年3月31日までに、受験する同校種・同職種・同教科等で通算して36箇月以上の勤務経験となる者(他県等との併願は不可)が対象。対象者は1次試験が免除される <p>⑤高校改革に伴う特別選考の新設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年4月から開校予定の千原台高等学校改革において「情報やビジネス、スポーツに関する高い専門性を有するスペシャリストを育成する」の教育理念に合致する、スペシャリストを対象とした教員採用の特別選考を行う。対象となるのは、国際レベルの大会に日本代表として出場若しくは、全国大会へ通算3回以上出場した実績を有する選手、または国際レベルの大会に日本代表の選手を出場若しくは、全国大会へ通算3回以上選手を出場させた実績を有する指導者で、対象者には「模擬授業」と「面接1・面接2」を実施する(※志願書の他に申請書及び証明書類の提出が必要)。採用予定は若干名 <p>⑥専門性の高い教員を確保するために、加点制度を拡大する</p> <p>(1)第一次選考試験における加点対象の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数校種免許状取得者及び取得見込者に対する加点の対象校種に「幼稚園」と「高校」を追加。対象の免許状についても「幼稚園教諭」と「高等学校教諭」を追加する。受験校種以外の普通免許状取得者及び取得見込者が対象で、1次試験において5点を加点する(受験校種以外の普通免許状1つ以上で5点を加点する。また、「中学校・高校」は中学校の普通免許状だけで受験できるため、高等学校教諭普通免許状取得者及び取得見込者も加点の対象とする) ・小学校、中学校・高校を対象に「司書教諭」資格取得者及び取得見込者について、1次試験において5点を加点する <p>(2)第二次選考試験における加点制度の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「複数校種免許状取得者及び取得見込者」及び「特別支援学校等教諭免許状取得者及び取得見込者」に対して、令和3年度実施試験では1次試験のみ加点していたのを、今回の試験からは2次試験でも引き続き加点する <p>⑦2次試験において、より実践的指導力を重視するため、配点を見直す。具体的には、これまで「実技」と「模擬試験等」をあわせて80点の配点となっていた幼稚園と中高英語については、「実技」で60点、「模擬授業等」で60点の配点に改める。実技が廃止となる小学校については「模擬授業等」のみで60点とする。また、中学校・高校、養護、栄養についてはこれまで「実技」「模擬試験等」の配点がそれぞれ50点となっていたのを、いずれも60点に引き上げる。一方、個人面接(2回実施)の配点については、これまでの180点から150点に変更される</p> <p>【参考】熊本市教育委員会・令和5年度(2023年度)熊本市立学校教員採用選考試験 主な変更点及び日程について https://www.city.kumamoto.jp/common/UploadFileDsp.aspx?c_id=5&id=2481&sub_id=169&flid=292241</p>	特記事項	<p>今回の試験での採用予定者数は小学校165名(前年比+20)、中学校・高校73名(前年比+11)、高校(商業、情報、特別選考での合計)3名(前年度募集なし)、養護教諭8名(前年比+2)、栄養教諭2名(前年比±0)、幼稚園2名(前年比±0)、特別支援教育推進(小、中・高、幼の合計)18名(前年度は小、中・高の合計で10名)</p>
試験日程	<ul style="list-style-type: none"> ・1次試験：7月10日(日) ・2次試験：8月16日(火)、8月17日(水)～29日(月)の指定日 						
変更点	<p>①1次試験について、熊本会場と並行して、大阪会場でも1次試験を実施する</p> <p>②小学校の2次試験で行っていた「水泳」の実技試験を廃止し、合格者に対する研修に変更する</p> <p>③中学校・高校において1次試験で実施していたすべての実技試験を、2次試験に移行する</p> <p>④現場経験のある人材(熊本市の臨時的任用教員・他県等現職教諭)の特別選考を新設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熊本市の臨時的任用教員等を対象とした特別選考は、栄養教諭を除く全校種で実施し、令和4年5月1日において熊本市立学校の臨時的任用教員(常勤講師、養護助教諭)または育児休業代替任期付教員として任用されており、通算で36箇月以上の勤務経験がある者が対象。対象者は1次試験が免除される ・他県等現職教員を対象とした特別選考は、全校種で実施し、国公立学校(熊本県公立学校を除く)における正規教員(熊本市立学校正規教員および任期を定めて採用された教員を除く)として現に勤務しており、令和5年3月31日までに、受験する同校種・同職種・同教科等で通算して36箇月以上の勤務経験となる者(他県等との併願は不可)が対象。対象者は1次試験が免除される <p>⑤高校改革に伴う特別選考の新設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年4月から開校予定の千原台高等学校改革において「情報やビジネス、スポーツに関する高い専門性を有するスペシャリストを育成する」の教育理念に合致する、スペシャリストを対象とした教員採用の特別選考を行う。対象となるのは、国際レベルの大会に日本代表として出場若しくは、全国大会へ通算3回以上出場した実績を有する選手、または国際レベルの大会に日本代表の選手を出場若しくは、全国大会へ通算3回以上選手を出場させた実績を有する指導者で、対象者には「模擬授業」と「面接1・面接2」を実施する(※志願書の他に申請書及び証明書類の提出が必要)。採用予定は若干名 <p>⑥専門性の高い教員を確保するために、加点制度を拡大する</p> <p>(1)第一次選考試験における加点対象の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数校種免許状取得者及び取得見込者に対する加点の対象校種に「幼稚園」と「高校」を追加。対象の免許状についても「幼稚園教諭」と「高等学校教諭」を追加する。受験校種以外の普通免許状取得者及び取得見込者が対象で、1次試験において5点を加点する(受験校種以外の普通免許状1つ以上で5点を加点する。また、「中学校・高校」は中学校の普通免許状だけで受験できるため、高等学校教諭普通免許状取得者及び取得見込者も加点の対象とする) ・小学校、中学校・高校を対象に「司書教諭」資格取得者及び取得見込者について、1次試験において5点を加点する <p>(2)第二次選考試験における加点制度の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「複数校種免許状取得者及び取得見込者」及び「特別支援学校等教諭免許状取得者及び取得見込者」に対して、令和3年度実施試験では1次試験のみ加点していたのを、今回の試験からは2次試験でも引き続き加点する <p>⑦2次試験において、より実践的指導力を重視するため、配点を見直す。具体的には、これまで「実技」と「模擬試験等」をあわせて80点の配点となっていた幼稚園と中高英語については、「実技」で60点、「模擬授業等」で60点の配点に改める。実技が廃止となる小学校については「模擬授業等」のみで60点とする。また、中学校・高校、養護、栄養についてはこれまで「実技」「模擬試験等」の配点がそれぞれ50点となっていたのを、いずれも60点に引き上げる。一方、個人面接(2回実施)の配点については、これまでの180点から150点に変更される</p> <p>【参考】熊本市教育委員会・令和5年度(2023年度)熊本市立学校教員採用選考試験 主な変更点及び日程について https://www.city.kumamoto.jp/common/UploadFileDsp.aspx?c_id=5&id=2481&sub_id=169&flid=292241</p>						
特記事項	<p>今回の試験での採用予定者数は小学校165名(前年比+20)、中学校・高校73名(前年比+11)、高校(商業、情報、特別選考での合計)3名(前年度募集なし)、養護教諭8名(前年比+2)、栄養教諭2名(前年比±0)、幼稚園2名(前年比±0)、特別支援教育推進(小、中・高、幼の合計)18名(前年度は小、中・高の合計で10名)</p>						
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="228 1081 326 1581">試験日程</td> <td data-bbox="326 1081 1524 1581"> <ul style="list-style-type: none"> ・1次試験(筆記)：7月10日(日) ・2次試験(模擬授業(場面指導)・面接Ⅰ)：8月6日(土)～12日(金)のうちの指定日 ・3次試験(面接Ⅱ=個人面接)：9月17日(土)～25日(日)のうちの指定日 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="228 1166 326 1471">変更点</td> <td data-bbox="326 1166 1524 1471"> <p>①これまで2次試験で実施していた「口頭試問」に換えて、教科指導等に対する考え方や意欲などを含め、より広い観点で評価する面接試験(「面接Ⅰ」)を導入、「模擬授業(養護教諭は場面指導)」に引き続いて「面接Ⅰ」を実施する形態とする。これにともない3次試験で実施する「個人面接」の名称は「面接Ⅱ」に変更する</p> <p>②一般選考の1次試験の免除制度について、「前々年度または前年度実施試験の第2次試験までを受験し、合格した者」としていたのを「前年度実施試験の第1次試験を受験し、合格した者」にまで対象を広げる。また、1次試験免除者が増加することで、1次試験からの受験者の合格者数に影響が出ないように、1次試験の合格者数についての規定を変更し、1次試験免除者が増加しても1次試験からの受験者の合格者数が減ることのないようにする</p> <p>③特別選考Ⅳ(他県教諭特別選考)の受験資格について、これまで「試験実施年度の4月1日現在3年以上である者」としていた勤務期間についての要件を「試験実施年度の3月31日現在3年以上である者」に変更し、他県で教諭として勤務3年目の方も受験ができるように緩和する</p> <p>【参考】大分県教育委員会・令和5年度大分県公立学校教員採用選考試験(令和4年度実施)の変更点について https://www.pref.oita.jp/uploaded/attachment/2135041.pdf</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="228 1471 326 1581">特記事項</td> <td data-bbox="326 1471 1524 1581"> <p>今回の試験での採用予定者数は小学校200名(前年比±0)、小中連携20名(前年比±0)、中学校130名(前年比+15)、高校49名(前年比+6)、特別支援学校52名(前年比+2)、養護教諭17名(前年比±0)、栄養教諭5名(前年比±0)で、合計では前年度より23名増となる473名。また、特別選考(障がい者、社会人、スペシャリスト、他県教諭)での採用予定者数は前年度と同じく合計で67名となっている</p> </td> </tr> </table>	試験日程	<ul style="list-style-type: none"> ・1次試験(筆記)：7月10日(日) ・2次試験(模擬授業(場面指導)・面接Ⅰ)：8月6日(土)～12日(金)のうちの指定日 ・3次試験(面接Ⅱ=個人面接)：9月17日(土)～25日(日)のうちの指定日 	変更点	<p>①これまで2次試験で実施していた「口頭試問」に換えて、教科指導等に対する考え方や意欲などを含め、より広い観点で評価する面接試験(「面接Ⅰ」)を導入、「模擬授業(養護教諭は場面指導)」に引き続いて「面接Ⅰ」を実施する形態とする。これにともない3次試験で実施する「個人面接」の名称は「面接Ⅱ」に変更する</p> <p>②一般選考の1次試験の免除制度について、「前々年度または前年度実施試験の第2次試験までを受験し、合格した者」としていたのを「前年度実施試験の第1次試験を受験し、合格した者」にまで対象を広げる。また、1次試験免除者が増加することで、1次試験からの受験者の合格者数に影響が出ないように、1次試験の合格者数についての規定を変更し、1次試験免除者が増加しても1次試験からの受験者の合格者数が減ることのないようにする</p> <p>③特別選考Ⅳ(他県教諭特別選考)の受験資格について、これまで「試験実施年度の4月1日現在3年以上である者」としていた勤務期間についての要件を「試験実施年度の3月31日現在3年以上である者」に変更し、他県で教諭として勤務3年目の方も受験ができるように緩和する</p> <p>【参考】大分県教育委員会・令和5年度大分県公立学校教員採用選考試験(令和4年度実施)の変更点について https://www.pref.oita.jp/uploaded/attachment/2135041.pdf</p>	特記事項	<p>今回の試験での採用予定者数は小学校200名(前年比±0)、小中連携20名(前年比±0)、中学校130名(前年比+15)、高校49名(前年比+6)、特別支援学校52名(前年比+2)、養護教諭17名(前年比±0)、栄養教諭5名(前年比±0)で、合計では前年度より23名増となる473名。また、特別選考(障がい者、社会人、スペシャリスト、他県教諭)での採用予定者数は前年度と同じく合計で67名となっている</p>
試験日程	<ul style="list-style-type: none"> ・1次試験(筆記)：7月10日(日) ・2次試験(模擬授業(場面指導)・面接Ⅰ)：8月6日(土)～12日(金)のうちの指定日 ・3次試験(面接Ⅱ=個人面接)：9月17日(土)～25日(日)のうちの指定日 						
変更点	<p>①これまで2次試験で実施していた「口頭試問」に換えて、教科指導等に対する考え方や意欲などを含め、より広い観点で評価する面接試験(「面接Ⅰ」)を導入、「模擬授業(養護教諭は場面指導)」に引き続いて「面接Ⅰ」を実施する形態とする。これにともない3次試験で実施する「個人面接」の名称は「面接Ⅱ」に変更する</p> <p>②一般選考の1次試験の免除制度について、「前々年度または前年度実施試験の第2次試験までを受験し、合格した者」としていたのを「前年度実施試験の第1次試験を受験し、合格した者」にまで対象を広げる。また、1次試験免除者が増加することで、1次試験からの受験者の合格者数に影響が出ないように、1次試験の合格者数についての規定を変更し、1次試験免除者が増加しても1次試験からの受験者の合格者数が減ることのないようにする</p> <p>③特別選考Ⅳ(他県教諭特別選考)の受験資格について、これまで「試験実施年度の4月1日現在3年以上である者」としていた勤務期間についての要件を「試験実施年度の3月31日現在3年以上である者」に変更し、他県で教諭として勤務3年目の方も受験ができるように緩和する</p> <p>【参考】大分県教育委員会・令和5年度大分県公立学校教員採用選考試験(令和4年度実施)の変更点について https://www.pref.oita.jp/uploaded/attachment/2135041.pdf</p>						
特記事項	<p>今回の試験での採用予定者数は小学校200名(前年比±0)、小中連携20名(前年比±0)、中学校130名(前年比+15)、高校49名(前年比+6)、特別支援学校52名(前年比+2)、養護教諭17名(前年比±0)、栄養教諭5名(前年比±0)で、合計では前年度より23名増となる473名。また、特別選考(障がい者、社会人、スペシャリスト、他県教諭)での採用予定者数は前年度と同じく合計で67名となっている</p>						

	<p>試験日程</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次試験：7月9日(土), 10日(日) ・ 2次試験：8月19日(水)～31日(月)の指定日
宮崎県	<p>変更点</p> <ol style="list-style-type: none"> ①特別選考試験の選考方法について、これまで「論文」及び「面接」を実施していたのを「書類選考」のみとする ②障がいのある者を対象とした特別選考について、これまで出願資格の要件を「身体障害者手帳」の所有者のみとしていたのを、新たに「精神障害者保健福祉手帳」「療育手帳」の保有者についても対象とする ③大学卒業予定者を対象とした特別選考試験について、「小学校」「中学国語」に加え、「高校工業」についても対象とする ④1次試験の会場について、県外会場は東京、大阪、福岡の3か所で開催する ⑤加点する項目について、以下の項目を新たに追加する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校・高等学校教諭等「英語」を受験する者で、CEFR C1以上の英語力を有する者 ・ 情報処理技術者試験基本情報技術者試験合格者、または同機構が認定するこの資格と同等以上の資格取得者 ・ 高等学校教諭等(「情報」以外)を受験する者で、「情報」の免許状を有する者 ・ 特別支援学校教諭等を受験する者で、視覚障がい又は聴覚障がいに関する教育の領域の免許状を有する者 ⑥加点制度について、これまで一律で「2点」加点だったものが、小・中・高の受験者で「特別支援学校」普通免許状保有者と高校受験者(情報を除く)で「情報」の普通免許状保有者については「8点」、その他は「4点」に増やす ⑦2次試験において、ICTを活用した試験を中学技術と高校情報の模擬授業(パソコン、タブレット端末等のICT端末を用いた模擬授業)と、グループワーク(ICT等を活用し、数名のグループで協力して課題に取り組む)で実施する ⑧小学校の模擬授業について、これまで国語科・社会科・算数科・理科の4教科で実施していたのを、国語科、算数科、道徳科の3教科のいずれかで実施する ⑨すべての校種・教科等の模擬授業において、これまで試験当日に行っていた実施教科や内容等の告知を、実施教科・領域・単元名等について、1次試験の合格者に事前に告知する ⑩集団討論を廃止し、新たにグループワークによる試験を実施する <p>【参考】宮崎県教育委員会・令和5年度(令和4年度実施)宮崎県公立学校教員採用選考試験実施要項 https://www.pref.miyazaki.lg.jp/documents/49903/49903_20220301182450-1.pdf</p>
	<p>特記事項</p> <p>採用予定者数は小学校155名(前年比-65)、中学校93名(前年比+12)、高校53名(前年比±0)、特別支援学校43名(前年比+10)、養護教諭20名(前年比+8)、栄養教諭1名(前年比±0)、また、「スポーツの分野に係る特別選考」で6名程度の採用を予定</p>
	<p>試験日程</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次試験：7月10日(日) ・ 2次試験：8月23日(火)～9月7日(水)の指定日
鹿児島県	<p>変更点</p> <ol style="list-style-type: none"> ①年齢制限がこれまでの49歳以下から、54歳以下(昭和43(1968)年4月2日以降に生まれた者)に変更となる ②中学校・特別支援学校小学部を第1希望とする者で、小学校を第2希望として併願する者(小学校(併願))を対象とし、中学校から上限10名程度、特別支援学校小学部から上限5名程度を小学校採用者として選考する。小学校(併願)で受験できるのは、小学校と中学校、小学校と特別支援学校双方の普通免許状を所有する者(取得見込みを含む)で、試験では第1希望の中学校または特別支援学校の試験を受験し、選考にあたっては中学校・特別支援学校小学部の2次試験までの結果を踏まえ、総合的に判断する ③特別選考について、新たに「教職大学院特別選考」を実施する。すでに教職大学院を修了している、または令和5(2023)年3月31日までに修了予定で、志願する校種・教科の専修免許状を所有、または令和5年3月31日までに取得見込みの者が対象となり、書類審査の上で1次試験の教職教養試験を免除する <p>【参考】鹿児島県教育委員会・令和5年度鹿児島県公立学校教員採用選考試験要項 http://www.pref.kagoshima.jp/ba03/kyoiku/saiyo/shiken/youkou.html</p>
	<p>特記事項</p> <p>今回の試験での採用予定数は、小学校285名(前年比+5)、中学校150名(前年比+52)、高校22名(前年比-14)*、特支45名(前年比±0)、養護25名(前年比+1)、栄養2名(前年比-6)となっている(※高校については採用予定者数のほかに、教科によって若干名を採用予定)</p>
	<p>試験日程</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次試験：7月10日(日) ・ 2次試験：9月3日(土), 4日(日)
沖縄県	<p>変更点</p> <ol style="list-style-type: none"> ①新たに高校の「理科(地学)」の募集を開始する。一方、高校の「家庭(調理)」については当面の間募集を停止する ②特別選考について、新たに「沖縄県正規任用教諭経験者」「他都道府県現職正規任用教諭」「特定の資格を有する者(高校水産(海技士))」を対象とした特別選考を開始するほか、「身体に障害のある者を対象とした特別選考」を「障がいのある者を対象とした特別選考」に変更し、受験資格も変更する <p>【参考】沖縄県教育委員会・令和4年度実施 沖縄県公立学校教員候補者選考試験の概要 https://www.pref.okinawa.jp/edu/jinji/saiyo/koritsu/r04jisshi/r04henkouten/documents/r4kyouingaiyou4.pdf</p>
	<p>特記事項</p> <ol style="list-style-type: none"> ①採用予定者数は小学校が220名(前年比+20)、中学校が105名(前年比+5)、高校が50名(前年比±0)、特支(小学部)が10名(前年比-2)、特支(中・高等部)が5名(前年比±0)、養護が10名(前年比-2)となっており、前年度より小学校で20名、中学校で5名それぞれ増え、特支(小学部)と養護はそれぞれ2名減となっている ②今年度の試験について、1次試験は、昨年度に引き続き午前と午後に分けて実施する(校種・教科ごとの試験会場の割り振りは6月下旬をめぐり沖縄県教育委員会のホームページに掲載する)。2次試験については、個人面接(模擬授業合)のほかに実技試験(中高家庭・中高特美術)、体育模擬授業(中高特保健体育)、筆記試験(特別支援学校)、英作文(中高英語)を実施するが、1次・2次ともに新型コロナウイルス感染症等による不測の事態により実施方法を変更する場合もある